SONY

3-858-730-01 (1)

トリニトロン®ハイビジョンテレビ

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

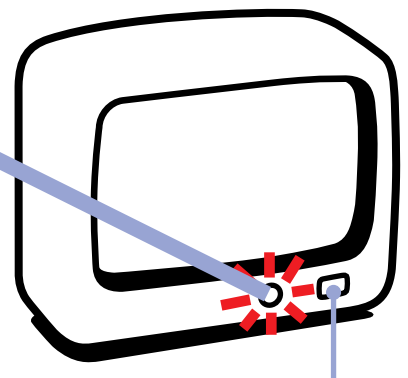
目次

KW-28HD2

テレビ、衛星放送を見る

1

赤いスタンバイ／スリープランプまたは電源ランプがついているか確認する。

ついていないときは本体の電源スイッチを押します。

2

チャンネルを選ぶ。

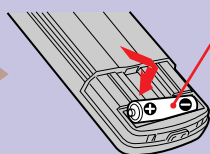
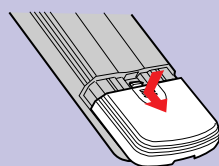
ボタンを押すと、自動的にテレビがつきます。
衛星放送（BS）を見るには、数字ボタン⑬～⑮を押します。

チャンネル＋／－ボタンを押すと、①～⑮の放送が順に映ります。
衛星放送（BS）は、BSボタンを使って見ることもできます。

例

3

音量を調整する。

・スタンバイ／スリープランプがついているときは、緑色表示のボタンを押すと自動的にテレビがつきます。（チャンネルポン機能）
・有料の衛星放送（WOWOWなど）を見るときは、「有料の衛星放送を見る」をご覧ください（☞11ページ）。

音を一時的に消す。
チャンネル表示などを出す。
テレビを消す。
入力を切り換える。
ビデオ
HD/MUSE
RGB
BS
チャンネル
音量
リモコンに乾電池を入れるには
単3形乾電池（付属）
必ずイラストのように
⊖極側から電池を入れ
てください。

操作編

ワイド画面を楽しむ（オートワイド）

オートワイドのときは

- ワイドクリアビジョン放送*識別信号、S-1方式*（S映像入力のとき）、ID-1方式*（S映像／映像入力のとき）の3つの識別信号を自動的に判別してワイド画面にします。
- ワイドクリアビジョン放送*を受信すると、自動的にズーム画面に切り換わります。
- 放送によっては「4：3映像」をノーマルに切り換えるための識別信号を送っている場合があり、このときは自動的にノーマル画面に切り換わります。

ワイド画面に関して

- このハイビジョンテレビは、各種の画面モード切り換え機能を備えています。テレビ番組などソフトの映像比率と異なるモードを選択されますと、オリジナルの映像とは見え方に差がでます。この点にご留意の上、画面モードをお選びください。
- このハイビジョンテレビを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として喫茶店、ホテルなどに置き画面モード切り換え機能等を利用して画面の圧縮や引き伸ばし等を行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。
- ワイド映像でない従来の4:3の映像を、ワイドズームモードを利用してハイビジョンテレビの画面いっぱいに表示してご覧になると、周辺画像が一部見えなくなったり変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像はノーマルモードでご覧になれます。

オートワイド／速攻ワイド機能が働くのは

テレビ、衛星放送、ビデオ入力、外部チューナー入力、デコーダー入力のときだけです。

*のついた用語は用語集をご覧ください。☞52ページ

画像に応じて、最適なワイド画面でお楽しみいただけます。本機が画像の種類を判断して、下記のように、ワイド画面に自動的に切り換えます。（オートワイド機能）

オートワイドが働いていない（切）ときの画像	画面モードの種類	オートワイドが働いているときの画像

通常のテレビ放送

（メニュー操作で「オートワイド」を「2」、「4：3映像」を「ワイドズーム」に設定した場合：☞6ページ）

4:3の映像を16:9に拡大し、はみ出た部分を圧縮して画面の上下におさめます。

ワイドクリアビジョン放送*

ズーム

横長の映像をそのまま16:9に拡大します。

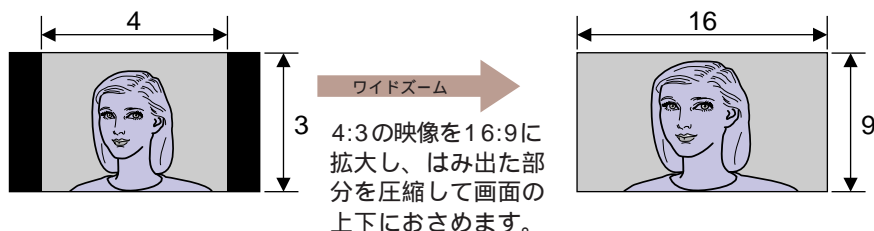
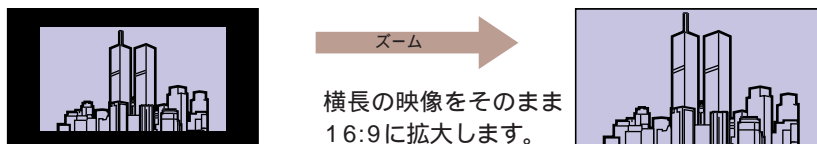
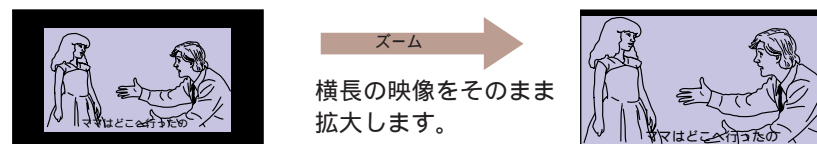
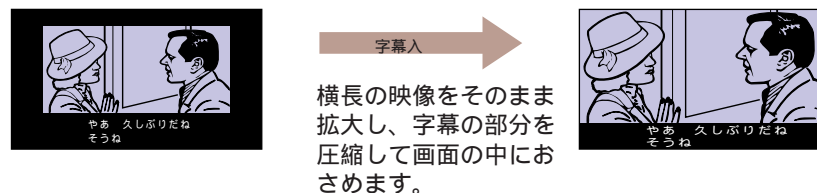
黒帯付きの映画

（字幕は映像の中）

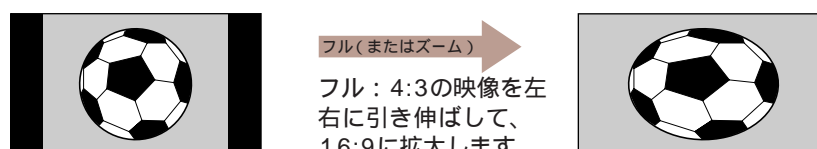
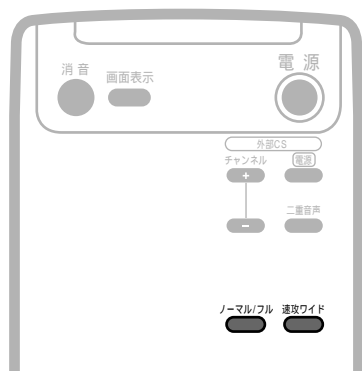
横長の映像をそのまま拡大します。

黒帯付きの映画

（字幕は映像の外）

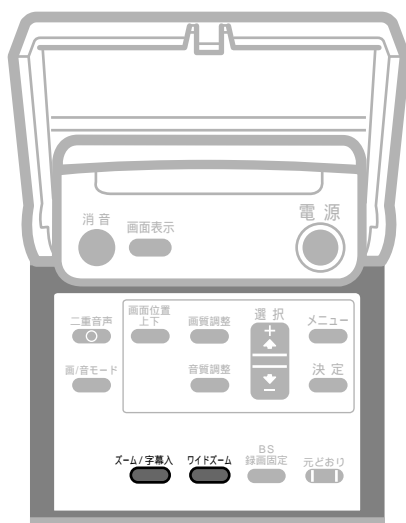
横長の映像をそのまま拡大し、字幕の部分を圧縮して画面の中におさめます。

S-1方式*やID-1方式*の識別信号が入った映像

フル（またはズーム）

フル：4:3の映像を左右に引き伸ばして、16:9に拡大します。

速攻ワイドで楽しむには

見ている画面を、すばやく最適なワイド画面に切り換えるには、**速攻ワイドボタン**を押します。押してからすぐに画面が切り換わります。

最適なワイド画面になる。

- **ワイドズーム（またはノーマル）**
- **ズーム**
- **字幕入**
- **フル**

手動でワイド画面に切り換えるには

電波の受信状態や暗い部分が多い映像などでは、最適なワイド画面にならない場合があります。このときは手動でお好みのワイド画面に切り換えてください。ワイドズーム、ズーム／字幕入ボタンを押して、それぞれの画面に切り換えることができます。

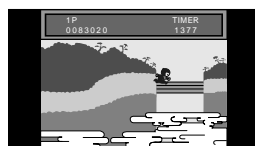
●ワイドズーム

ワイドズームボタンを押します。

●ズーム／字幕入

ズーム／字幕入ボタンを押します。
ボタンを押すごとにズームと字幕入が入れ換わります。

4:3（通常のテレビ画面）または横に拡大した画面を楽しむときは

ノーマル／フルボタンを押すごとにノーマルとフルが切り換わります。
フルにすると、テレビゲームなどを迫力のある画面で楽しめます。

ノーマル（4:3の画面）

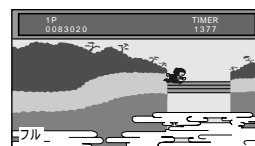
フル（左右に引き伸ばされた16:9の画面）

オートワイドが正しく動作しないときは
手動でワイド画面に切り換えてください。

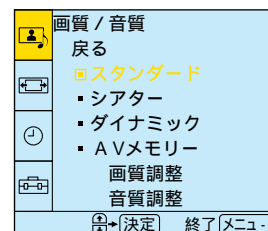
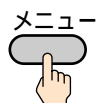
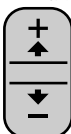
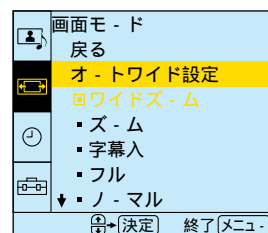
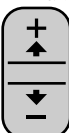
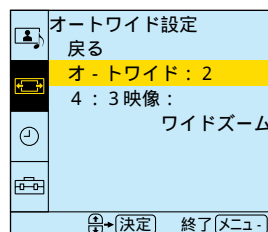
手動でワイド画面を切り換えたあと、オートワイドに戻るには

1 「オートワイド」を「2」に設定している（☞6ページ）とき、下記のボタンを押すと「オートワイド：1」になります。
 ・ワイドズームボタン
 ・ズーム／字幕入ボタン
 ・ノーマル／フルボタン
2 下記のことを行ったときは「オートワイド」の「2」に戻ります。
 ・チャンネルや入力を切り換える。
 ・電源を入／切する。

画面モードを固定しておくには
「オートワイド機能を働かせたくないときは」☞7ページ。

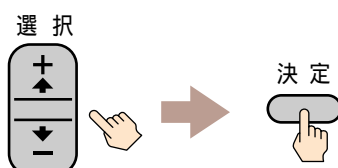
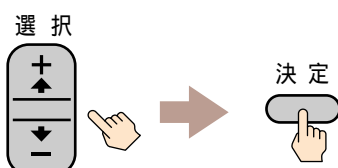
つづく

オートワイドの設定

オートワイドの設定を「1」または「2」にしておくとワイドクリアビジョン放送*やS-1方式*、ID-1方式*など識別信号の付いた画像は、個々の識別信号に対応したワイド画面（またはノーマル画面）に切り換えます（☞4ページ）。
また、オートワイド「2」にしておくと通常のテレビ放送やレンタルビデオの黒帯付き映画など識別信号のない画像を自動的に最適な画面モードに切り換えます。なお、この際通常のテレビ放送（4：3映像）をどう映すかをあらかじめ設定しておくことができます。

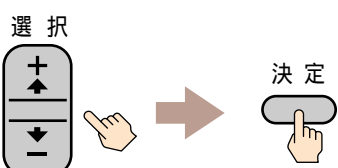
1 メニューボタン押す。

2 選択＋／－ボタンを押して「（画面モード）」を選び、決定ボタンを押す。

3 選択＋／－ボタンを押して「オートワイド設定」を選び、決定ボタンを押す。

＊のついた用語は用語集をご覧ください。☞52ページ

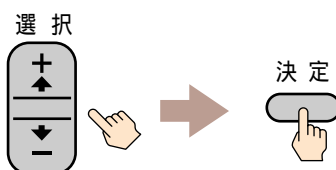
オートワイド機能を働かせたくないときは
手順5で「切」を選びます。
識別信号の有無に関係なく、すべての映像を、現在選んでいる画面モードで映します。チャンネルや入力を切り換えたり、電源を入／切しても、画面モードは変わりません。

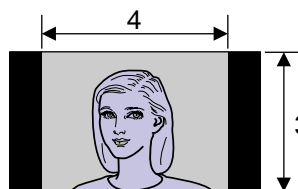
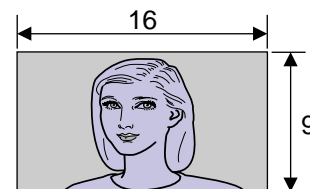
「オートワイド」の「1」と「2」の違いは？
「1」では、識別信号を本機が自動的に判断して、最適なワイド画面にします。
「2」では、「1」に加えて、画面の映像の無い部分（黒帯など）も判断して、最適なワイド画面にします。

4 選択＋／ーボタンを押して「オートワイド」を選び、決定ボタンを押す。

5 選択＋／ーボタンを押して「1」または「2」を選び、決定ボタンを押す。

	通常のテレビ放送（4：3映像）は	黒帯付きの映画や映像は
「オートワイド」を「1」にすると	現在選んでいる画面モードで映ります。 速攻ワイドボタンを押したときだけ、手順6で設定する画面モード（「ノーマル」または「ワイドズーム」）へ切り換わります。	現在、選んでいる画面モードで映ります。
「オートワイド」を「2」にすると	つねに、手順6で設定した画面モード（「ノーマル」または「ワイドズーム」）へ自動的に切り換わります。	「ズーム」または「字幕入」モードへ自動的に切り換わります。

6 選択＋／ーボタンを押して「4：3映像」を選び、決定ボタンを押す。

つづく

ワイド画面を楽しむ（つづき）

7 選択＋／－ボタンを押して通常のテレビ放送（4：3映像）をどう映すかを選び、決定ボタンを押す。

通常のテレビ放送（4：3映像）は、次のように切り換わります。

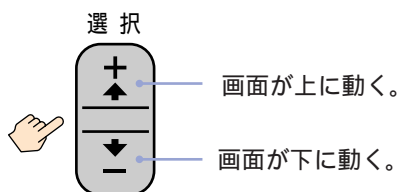
「ノーマル」にすると
4：3の映像のまま映ります。

「ワイドズーム」にすると
4：3の映像を16：9に拡大し、はみ出た部分を圧縮して画面の上下におさめて映します

8 メニューボタンを押してメニューを消す。

ワイド画面を使いこなす

画面位置を上下に調整するには

以下のようなときは、画面を上下に動かしてください。
●**ワイドズーム画面で**画面の上または下が欠けるとき。
●**ズーム画面で**画面を見やすい位置にしたいとき。
●**字幕入画面にしても**字幕が画面に入りきらないとき。
ワイドズーム、ズーム、字幕入のそれぞれの画面について設定できます。

1 画面位置上下ボタンを押す。

2 選択＋／－ボタンを押して画面の位置を調整する。

3 画面位置上下ボタンを押す。

画面位置はメニューでも設定することができます。

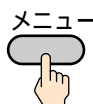
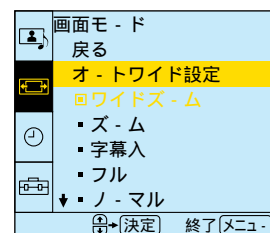
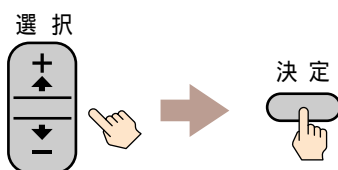
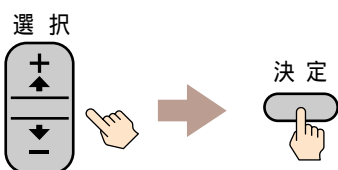
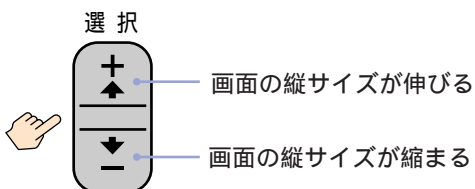
操作編

つづく

ワイド画面を使いこなす（つづき）

映像を縦方向に伸ばしたり縮めたりするには

この操作は、**ワイドズーム、ズーム、字幕入画面**のときに行うことができます。ワイドズーム、ズーム、字幕入のそれぞれの画面について設定することができます。

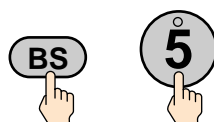
1 **メニューボタンを押す。**

2 **選択＋／－ボタンを押して「（画面モード）」を選び、決定ボタンを押す。**

3 **選択－ボタンを繰り返し押して「縦サイズ」を選び、決定ボタンを押す。**

4 **選択＋／－ボタンを押して調整する。**

5 **メニューボタンを押してメニューを消す。**

有料の衛星放送を見る

有料の衛星放送を見るには、BSデコーダー*の接続が必要です。☞35ページ。

1 BSデコーダーの電源を入れる。

2 チャンネルボタンを押し、放送を選ぶ。

（例）WOWOW を見るには

独立音声を聞くには

1996年10月現在、独立音声放送*はBS5チャンネル（St.GIGA）でのみ放送されています。（St.GIGAは、WOWOWとは別に受信契約が必要です。）

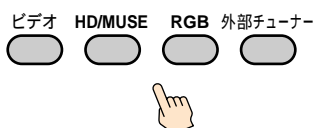
1 メニューボタンを押す。
2 選択＋／－ボタンを押して「[icon]（各種切換）」を選び、決定ボタンを押す。
3 選択＋／－ボタンを押して「TV／独立音声」を選び、決定ボタンを押す。
4 選択＋／－ボタンを押して「独立」を選び、決定ボタンを押す。
スクランブル*がかかっているときは、デコーダー側で独立音声に切り換えます。
5 メニューボタンを押してメニューを消す。

ご注意
BSデコーダーを接続して有料の衛星放送を見ているとき、音声モードは表示されません。音声モードの切り換えは、デコーダー*側で行ってください。
また、このとき受信チャンネルは水色で表示されます。

*のついた用語は用語集をご覧ください。☞52ページ

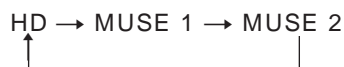
ビデオなどを見る

入力を切り換えて、ビデオやハイビジョン関連機器、CS放送などの映像を見ることができます。

1 見たい入力のボタンを押す。

ボタン	接続端子	接続する機器
ビデオ	ビデオ1~3 入力	ビデオ、ゲームなど
HD/MUSE	HD入力 または MUSE1、2入力	ハイビジョン関連機器
RGB	RGB1入力または PC/RGB2入力	パソコンなど
外部チューナー	外部チューナー入力	CSチューナーなど

HD/MUSEボタンを押すと

押すたびに、次のように入力が切り換わります。

HD → MUSE 1 → MUSE 2

2 ビデオやハイビジョン関連機器などを操作する。

詳しくはビデオなどの取扱説明書をご覧ください。

ソニーのCSチューナーであればテレビのリモコンでも操作することができます。（電源、二重音声、チャンネル＋／ーボタンのみ）

CS放送を見るには

CSチューナー、CSデコーダーが必要です。本機裏面の外部チューナー入力に接続してください。☞37～39ページ。

テレビ画面に戻すには

チャンネル数字ボタンまたはチャンネル＋／ーボタンを押ししてください。

パソコンの映像を見る

PC／RGB2入力端子（本機前面）またはRGB1入力端子（本機裏面）にパソコンなどをつないで、CD-ROMなどの映像や音声を楽しむことができます。☞43ページ。

1

RGBボタンを押す。

RGBボタンを押すたびに、RGB1入力とPC/RGB2入力が入れ替わります。

2

パソコンなどを操作する。

詳しくはパソコンなどの取扱説明書をご覧ください。

テレビ画面に戻すには

チャンネル数字ボタンまたはチャンネル＋／－ボタンを押してください。

つづく

パソコンの映像を見る（つづき）

ズームモードのときは
パソコンの画面をズームモードにしているときに、上下の映像がはみ出している場合、画面の上下位置を調整することができます。☞9ページ。

画面位置の上下補正が必要なときは（フル／ノーマルモードのとき）
「パソコンの画面位置を上下に補正する」☞47ページを行ってください。

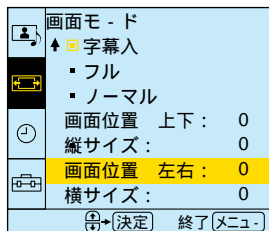
画面モードを選ぶ

パソコンの画面をノーマル、フル、ズームモードに変えることができます☞5ページ。
選択した画面モードは、パソコン使用後も他の画面モードとは別にそのまま本体に記憶されています。

画質を調整する

「画質／音質を調整する」☞15ページ。調整後の画質は、パソコン使用後も他の画面モードとは別にそのまま本体に記憶されています。

パソコンの画面位置を左右に調整する
（RGB1、PC／RGB2入力のとき）

1　メニューボタンを押す。
2　選択＋／ーボタンを押して「 （画面モード）」を選び、決定ボタンを押す。
3　選択ーボタンを繰り返し押して「画面位置　左右」を選び、決定ボタンを押す。

4　選択＋／ーボタンを押して、画面の位置を調整する。
5　メニューボタンを押してメニューを消す。

パソコン画面の横サイズを調整する
（RGB1、PC／RGB2入力のとき）

1　メニューボタンを押す。
2　選択＋／ーボタンを押して「 （画面モード）」を選び、決定ボタンを押す。
3　選択ーボタンを繰り返し押して「横サイズ」を選び、決定ボタンを押す。
4　選択＋／ーボタンを押して、横サイズを調整する。
5　メニューボタンを押してメニューを消す。

画質／音質を調整する

部屋の明るさや番組に合わせて、4種類の画質／音質を選ぶことができます。

部屋の明るさに合わせて画質を選ぶ

画／音モードボタンを押す。

押すたびに、画質／音質は下記の順に変わります。

●スタンダード ふつうの明るさの部屋で、くっきりした映像を見たいとき

↓ 押す

●シアター 部屋を暗くして、きめ細かな映像と臨場感ある音声で映画などを楽しむとき

↓ 押す

●ダイナミック 明るい部屋で、明暗のはっきりしたメリハリのある映像を見たいとき

↓ 押す

●AVメモリー ご自分で設定した画質／音質で楽しみたいとき（設定のしかたは、☞次ページ）

（押す → スタンダードへ戻る）

ご注意
- 「スタンダード」、「シアター」、「ダイナミック」の画質／音質は調整できません。
- RGB1入力、PC／RGB2入力のときは、「AVメモリー」のみ選ぶことができます。

通常、ご家庭でご覧になるときは

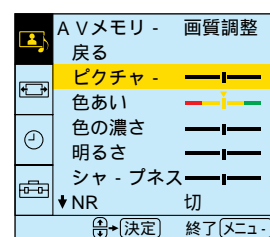
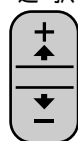
AVメモリーの「画質調整」、「音質調整」を「標準」にしておくことをおすすめします。

画質／音質を調整する（つづき）

AVメモリーは数種類設定できます
AVメモリーは、テレビ、BS、ハイビジョン放送、デコーダー入力、ビデオ1、2、3入力、MUSE1、2入力、HD入力、外部チューナー入力、RGB1入力、PC／RGB2入力それぞれについて画質／音質を設定することができます。

お好みの画質に調整する（AVメモリー）

画質をお好みに合わせて調整し、AVメモリーに記憶させることができます。画／音モードボタンを押して「AVメモリー」を選ぶと、記憶させた画質で見ることができます。

1 画質調整ボタンを押す。

2 選択＋／−ボタンを押して調整する項目を選び、決定ボタンを押す。

3 選択＋／−ボタンを押して調整し、決定ボタンを押す。

選択	ピクチャー	色あい	色の濃さ	明るさ	シャープネス
＋	明暗の差が、強くなる	緑がかる	濃くなる	明るくなる	くっきりした画像になる
−	明暗の差が、弱くなる	赤みがかる	淡くなる	暗くなる	柔らかな画像になる

4 手順2と3を繰り返して、他の項目を調整する。

5 画質調整ボタンを押してメニューを消す。

画質をより細かく調整するには
手順2で選択ーボタンを押し続けると「画質調整」の次画面が現われ、以下の項目が調整できます。

項目	調整内容
NR（ノイズリダクション）	ざらつきを軽減する
VM（ベロシティモジュレーション）	輪郭を強調する
Hホワイト	白色の鮮明さを調整する
色温度	色調を「高」（青みがかかる）から「低」（赤みがかかる）まで調整する。

ご注意
PC／RGB2入力のときは「ピクチャー」、「明るさ」、「色温度」のみ調整することができます。

画質／音質を標準の状態（お買い上げ時）にするには
それぞれの調整項目の一番下にある「標準」を選びます。
画質／音質はメニューでも設定することができます。

*のついた用語は用語集をご覧ください。☞52ページ

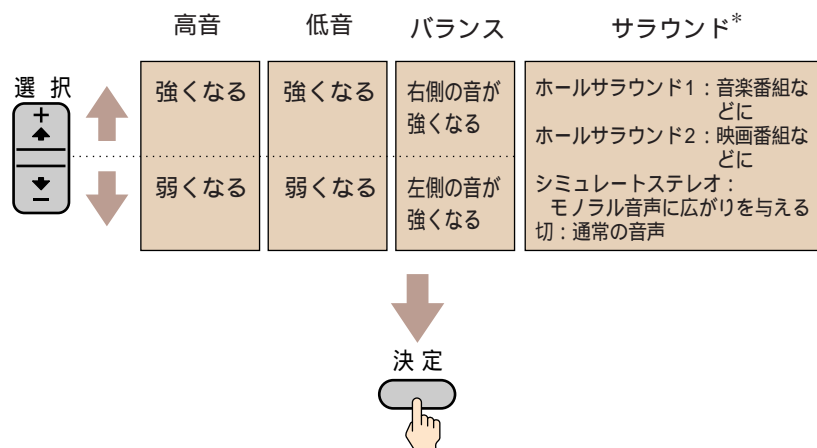
画面を消すには

プロジェクターでテレビの映像を見るときや、独立音声のみを聴くときなどに、テレビ本体の画面のみ消すことができます。

1 メニューボタンを押す。
2 選択＋／ーボタンを押して「（各種切換）」を選び、決定ボタンを押す。
3 選択＋／ーボタンを押して「消画」を選び、決定ボタンを押す。
4 選択＋／ーボタンを押して「入」を選び、決定ボタンを押す。
5 メニューボタンを押してメニューを消す。

お好みの音質に調整する（AVメモリー）

画質と同様、音質もお好みに合わせて調整し、AVメモリーに記憶させることができます。画質調整ボタンのかわりに、**音質調整ボタン**を押すと、下記の項目を調整することができます。

選択	高音	低音	バランス	サラウンド*
＋	強くなる	強くなる	右側の音が強くなる	ホールサラウンド1：音楽番組など ホールサラウンド2：映画番組など
−	弱くなる	弱くなる	左側の音が強くなる	シミュレートステレオ：モノラル音声に広がりを与える 切：通常の音声

衛星放送を録画する

テレビのBSチューナーを使って、衛星放送をビデオに録画することができます。あらかじめ「衛星放送を録画するための接続」（☞41ページ）を行ってください。

見ながら録画する

1 録画したい番組をテレビに映す。

BS5チャンネルを録画するときは、BSボタンを押して、次にチャンネル数字ボタンの「5」を押してください。

2 ビデオデッキを操作する。

ビデオデッキの入力切り換えを外部入力（またはライン入力）にしてから、録画を始めてください。

裏番組を録画するには

テレビ（VHF、UHF、CATV）やビデオを見ながら、衛星放送を録画することができます。このとき、録画している番組を誤って切り換えないよう、下の操作を行ってください。

1　録画したい番組をテレビに映す。
2　BS録画固定ボタンを押す。

BSチューナー部のチャンネルが固定されて、他のBSのチャンネルに切り換わらなくなります。BS録画固定をしたあとは、リモコンでテレビを消しても、BSチューナー部は、BS録画固定をしてから48時間電源が入った状態になります。
BSの他のチャンネルを見るにはBS録画固定ボタンを再度押してください。BS録画固定が解除されます。

ご注意
BS録画固定の操作は衛星放送のチャンネルを選んでいるときのみできます。

独立音声を録音するには

「（各種切換）」メニューから「TV／独立音声」を選んで「独立」にしてください。スクランブル*放送のときは、デコーダー*側で独立音声を選んでください。

予約録画する

48時間以内の番組を簡単に予約録画することができます。

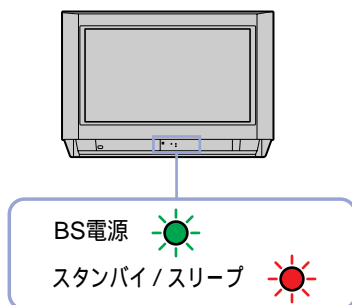
1 録画したいチャンネルをテレビに映す。

BS5チャンネルを録画するときは、BSボタンを押して、次にチャンネル数字ボタンの「5」を押してください。

2 ビデオデッキで録画を予約する。

ビデオデッキの入力切り換えを外部入力（ライン入力）にしてください。

3 BS録画固定ボタンを押す。

4 リモコンで電源を切る。

BS電源ランプが点灯したままになります。

ご注意
- テレビ本体の電源ボタンでテレビを消すと録画できなくなります。BS録画固定も解除されます。
- スクランブルのかかった放送を録画するときは、デコーダーの電源を入れたままにしてください。

BS録画固定を解除するには

もう一度、リモコンで電源を入れたあと衛星放送のチャンネルを選び、BS録画固定ボタンを押します。

ご注意
- BS録画固定をすると、BSのチャンネルは固定されます。
- BS録画固定を押してから、またはメニューの「タイマー」の中の「BS録画固定」を「入」に設定してから、約48時間後にBS電源は自動的に切れます。
- ハイビジョン放送のチャンネルを録画固定したときは、MUSE1、2入力の映像を見ることはできません。
- ハイビジョン放送を録画するときは「MUSE-NTSCコンバーターをつなぐ」（☞41ページ）をまたは「ハイビジョンのビデオなどをつなぐ」（☞42ページ）を行ってください。

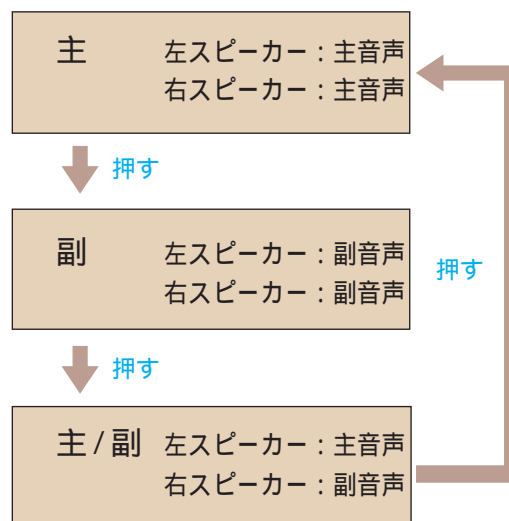
＊の付いた用語は用語集をご覧ください。☞52ページ。

操作編

音声を切り換える

二重音声放送のときには、主音声、副音声、主音声＋副音声のいずれかを選べます。

二重音声ボタンを押す。

押すたびに、音声は下記の順に変わります。

VHF/UHFのステレオ放送で雑音が気になるときは

音声をモノラルにして雑音を軽減することができます。

1　本体の設定ボタンを押す。
2　選択＋／－ボタンを押して「🔈(音声設定)」を選び、決定ボタンを押す。
3　選択＋／－ボタンを押して「オートステレオ」を選び、決定ボタンを押す。
4　選択＋／－ボタンを押して「切」を選び、決定ボタンを押す。
5　設定ボタンを押してメニューを消す。

「オートステレオ」の入／切はチャンネルごとに設定できます。設定したいチャンネルを選んでから上記の操作を行ってください。

ハイビジョン放送／MUSE＊入力の音声を切り換える

ハイビジョン放送には、多重音声、ステレオ2系統、3chステレオ、4chステレオなどの音声モードがあります。
二重音声ボタンを押して、各々の音声モードを選択します。

多重音声モードのとき

二重音声ボタンを押す。

押すたびに、音声は下記の順に変わります。

●主　左、右スピーカー：主音声

●副　左、右スピーカー：第1副音声

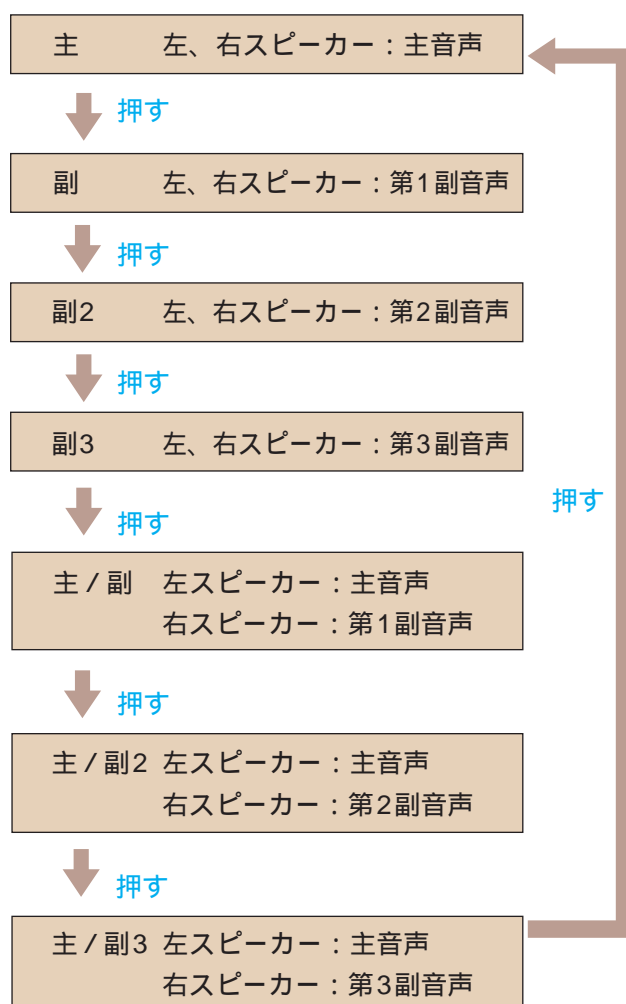
●副2　左、右スピーカー：第2副音声

●副3　左、右スピーカー：第3副音声

●主／副　左スピーカー：主音声
右スピーカー：第1副音声

●主／副2　左スピーカー：主音声
右スピーカー：第2副音声

●主／副3　左スピーカー：主音声
右スピーカー：第3副音声

押す（●主へ戻る）

ステレオ2系統モードのとき

二重音声ボタンを押すごとに、音声は「主ステレオ」または「副ステレオ」に切り換わります。

4ch（3-1方式）ステレオモードのとき

このモードを受信すると、画面右上に「3-1ステレオ」の表示が出ます。本格的に4chステレオを楽しむためにはオーディオシステムなどを接続し（☞45ページ）、下記の手順で「MUSE音声モード」を切り換えてください。

1　本体の設定ボタンを押す。
2　選択＋／ーボタンを押して「🔊（音声設定）」を選び、決定ボタンを押す。
3　選択＋／ーボタンを押して「MUSE音声モード」を選び、決定ボタンを押す。
4　選択＋／ーボタンを押して「3」を選び、決定ボタンを押す。
5　設定ボタンを押してメニューを消す。

「MUSE音声モード」を切り換えると、テレビのスピーカーやヘッドホン端子、音声出力（可変／固定）端子から出力される音声は下記のように変わります。

		MUSE音声モード		
		1	2	3
テレビのスピーカー／ヘッドホン端子	L	L＋C＋S	L＋C	L
	R	R＋C＋S	R＋C	R
音声出力（可変／固定）端子	L	L＋C＋S	L＋C	L
	R	R＋C＋S	R＋C	R
	C	ー	ー	C
	S	ー	S	S

L：左、R：右、C：センター、S：サラウンド、ー：出力なし

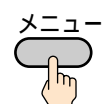
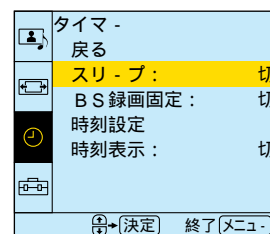
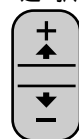
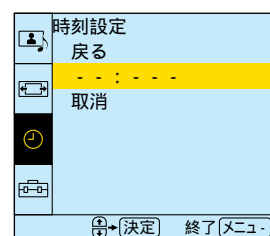
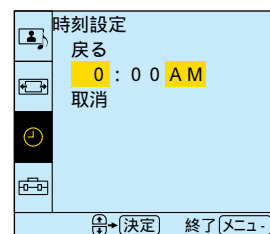
ハイビジョン放送
1996年10月現在、BS9チャンネルでは実用化試験局による放送が行われています。

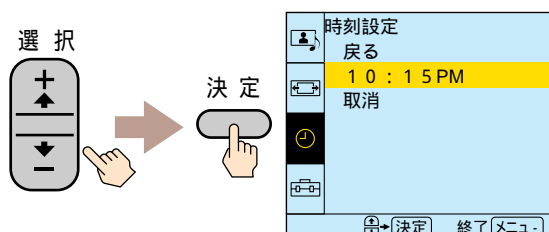
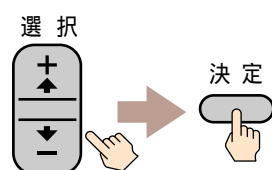
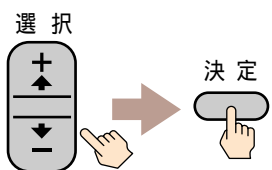
＊のついた用語は用語集をご覧ください。☞52ページ。

時計を使う

時計を表示する

昼の12時は0:00PM、夜の12時は0:00AMと表示されます。

1　メニューボタンを押す。

2　選択＋／ーボタンを押して「◴（タイマー）」を選び、決定ボタンを押す。

3　選択＋／ーボタンを押して「時刻設定」を選び、決定ボタンを押す。

4　ーー：ーーーが選ばれていることを確認して、決定ボタンを押す。

5 **時間を設定する。**

時→分の順に設定します。選択＋／ーボタンを押して数字を送り、決定ボタンを押して、時刻を設定します。

6 **選択＋／ーボタンを押して「時刻表示」を選び、決定ボタンを押す。**

7 **選択＋／ーボタンを押して「入」を選び、決定ボタンを押す。**

8 **メニューボタンを押してメニューを消す。**

時刻が表示されたままになります。

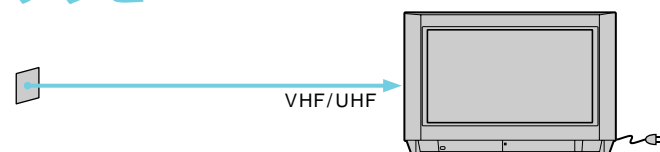
タイマーで電源を切る

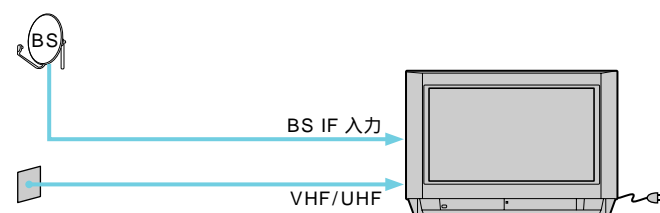
テレビをつけたままおやすみになっても、「スリープ」を「入」にしておけば約1時間後にテレビが消えます。

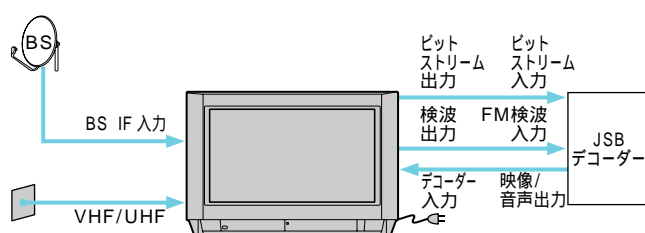
1　メニューボタンを押す。
2　選択＋／ーボタンを押して「◷（タイマー）」を選び、決定ボタンを押す。
3　選択＋／ーボタンを押して「スリープ」を選び、決定ボタンを押す。
4　選択＋／ーボタンを押して「入」を選び、決定ボタンを押す。
　本体のスタンバイ／スリープランプが点灯します。
5　メニューボタンを押してメニューを消す。

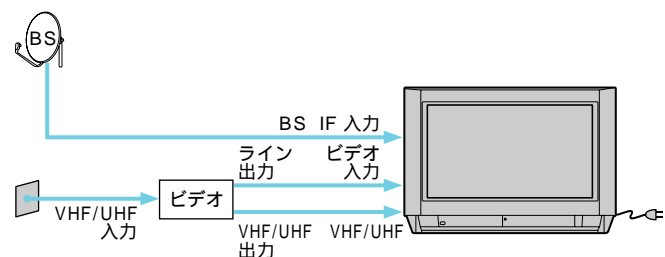
準備早わかり

受信する放送の種類や接続する機器によって準備のしかたが異なります。
下の例を参考に準備をしてください。

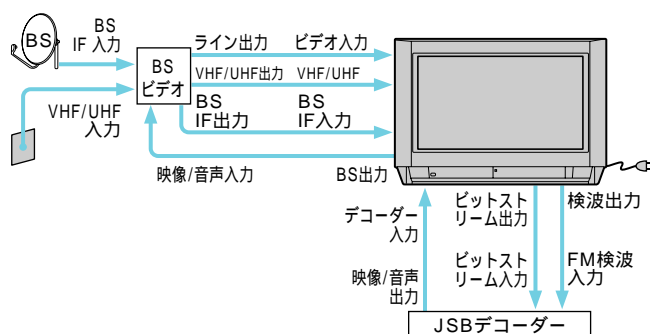
テレビ

1 テレビアンテナをつなぐ☞26ページ
2 電源をつなぐ
3 テレビチャンネルを設定する☞28ページ

テレビ＋BS（NHK衛星第1、第2、ハイビジョン放送）

1 テレビアンテナをつなぐ☞26ページ
2 BSアンテナをつなぐ☞32ページ
3 電源をつなぐ
4 テレビチャンネルを設定する☞28ページ
5 BS受信の設定をする☞33ページ

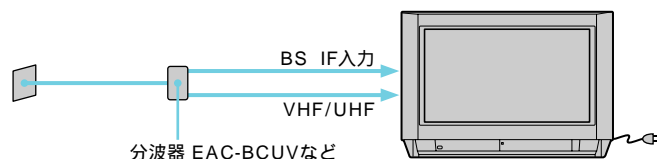
テレビ＋有料BS（WOWOW、St.GIGA）

1 テレビアンテナをつなぐ☞26ページ
2 BSアンテナをつなぐ☞32ページ
3 JSBデコーダーをつなぐ☞35ページ
4 電源をつなぐ
5 テレビチャンネルを設定する☞28ページ
6 BS受信の設定をする☞33ページ
7 BSデコーダーを設定する☞36ページ

テレビ＋BS（NHK衛星第1、第2、ハイビジョン放送）＋ビデオ

1 テレビアンテナを、ビデオデッキを経由してテレビにつなぐ☞26、40ページおよびビデオデッキの取扱説明書
2 BSアンテナをテレビにつなぐ☞32ページ
3 ビデオデッキをテレビにつなぐ☞40ページ
4 電源をつなぐ
5 テレビチャンネルを設定する☞28ページ
6 BS受信の設定をする☞33ページ

衛星放送を録画する場合は、「衛星放送を録画するための接続」（☞41ページ）を行ってください。
ハイビジョン放送を録画する場合は、「MUSE-NTSCコンバーターをつなぐ」（☞41ページ）または「ハイビジョンのビデオなどをつなぐ」（☞42ページ）を行ってください。

テレビ＋有料BS（WOWOW、St.GIGA）＋BSビデオ

1. テレビ／BSアンテナを、ビデオデッキを経由してテレビにつなぐ☞26、32、40ページおよびビデオデッキの取扱説明書
2. JSBデコーダーをテレビにつなぐ☞35ページ
3. ビデオデッキをテレビにつなぐ☞40ページ
4. 電源をつなぐ
5. テレビチャンネルを設定する☞28ページ
6. BS受信の設定をする☞33ページ
7. BSデコーダーを設定する☞36ページ

マンションなどの共同受信システムの場合

マンションなどでは、部屋のアンテナ端子ひとつでテレビ、BSを受信できる場合があります。

1. 分波器を使ってテレビ／BSアンテナをつなぐ☞32ページ
2. 電源をつなぐ
3. テレビチャンネルを設定する☞28ページ
4. BS受信の設定をする☞33ページ

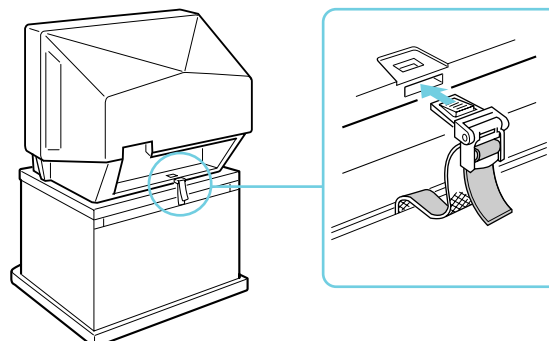
ケーブルテレビの場合

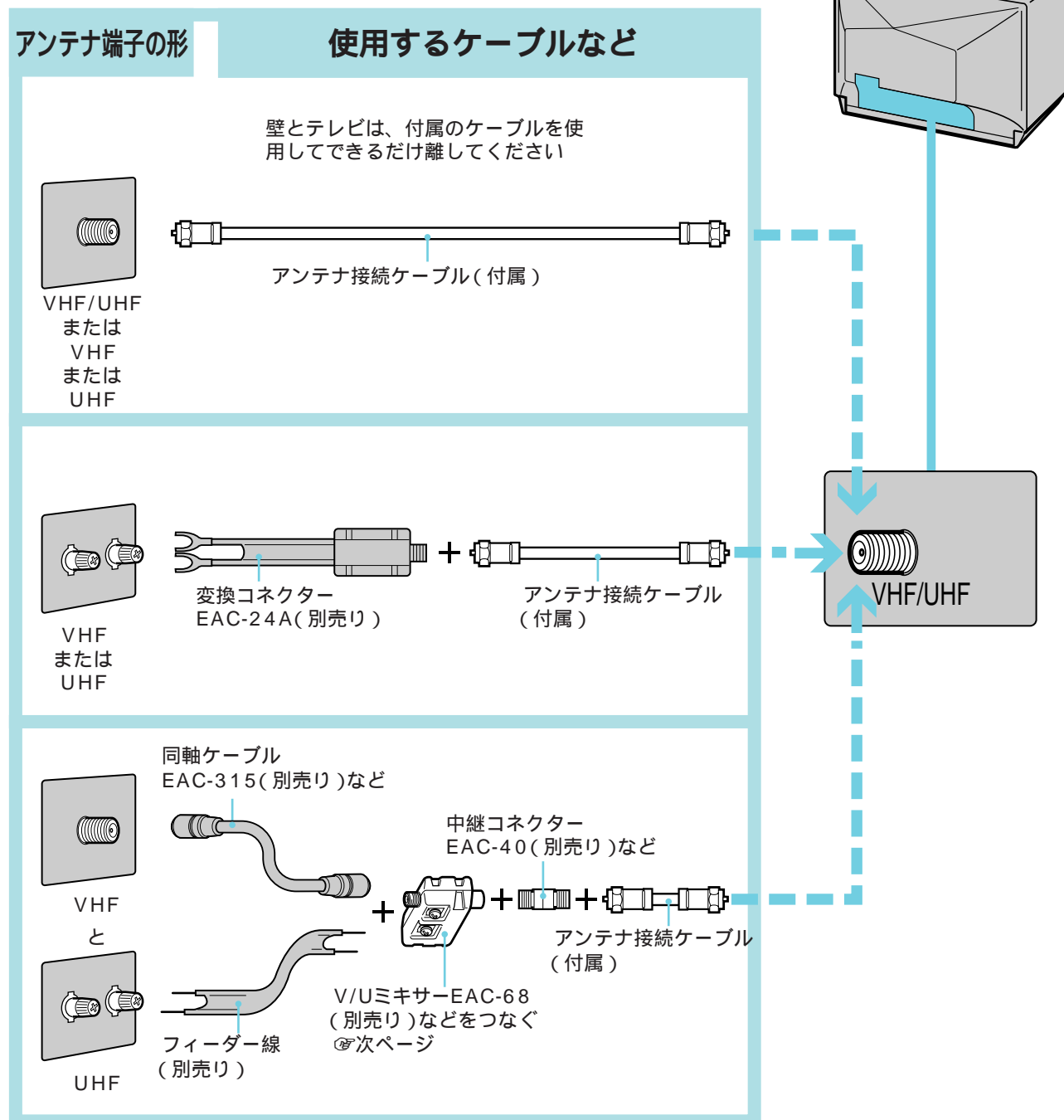
ケーブルシステムによって準備のしかたが異なりますので、ケーブルテレビ放送会社にお問い合わせください。

テレビの転倒を防ぐために

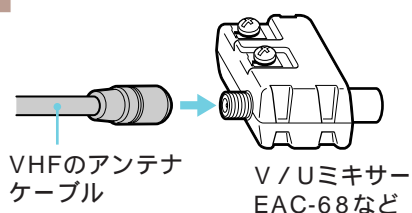
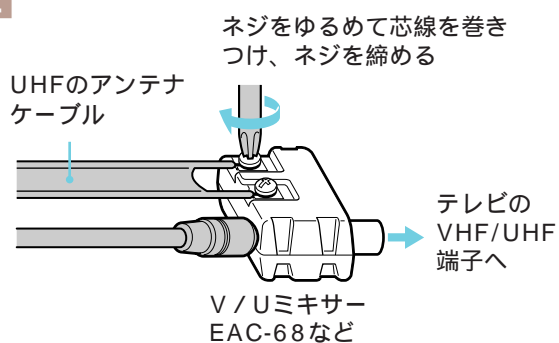
お子様がテレビに登ったり、押したりすると、テレビが倒れる恐れがあります。下記の別売り品を使用してテレビの転倒を防いでください。

・テレビラック固定ベルト　　BLT-R10
・テレビラック固定ベルト付属のテレビスタンド
　SU-28S1、SU-28V

準備編

テレビアンテナをつなぐ

アンテナのつなぎかたは、部屋のアンテナ端子の形や使用するケーブルによって異なります。
下の例から最も近いものを選び、接続してください。
VHF／UHF端子に接続するときは、付属のアンテナ接続ケーブルをお使いください。
なお、いずれにも当てはまらない場合は、販売店などにご相談ください。

フィーダー線は同軸ケーブルにくらべ雑音電波などの影響を受けやすく、
信号が劣化します。できるだけ同軸ケーブルをご使用ください。
フィーダー線をご使用になる場合はテレビ本体からできるだけ離してください。

V/Uミキサーをつなぐ

1

2

きれいな画像をお楽しみいただくために

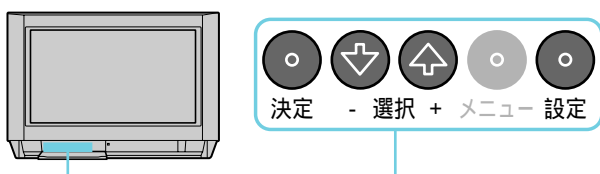
このハイビジョンテレビは、たくさんのデジタル回路による新しいテクノロジーが搭載されており、安定した画像をお楽しみいただくためにはアンテナの接続状態が非常に大切です。また、室内アンテナを用いたり、アンテナ線の接続方法によっては受信状態が不安定になり妨害電波を受けやすくなりますので、下記の項目をお読みいただき、アンテナ線の接続と設置を確実に行ってください。

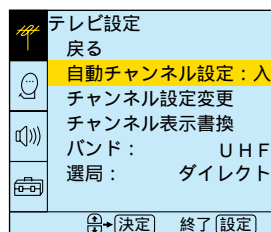
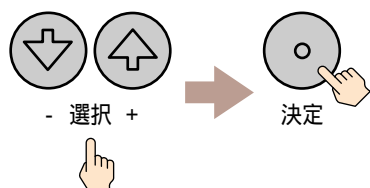
- **本機裏面のVHF／UHF端子への接続は、アンテナ線がフィーダー線／同軸ケーブルのどちらであっても、必ず付属のアンテナ接続ケーブルで行ってください。**
- **アンテナ線の周辺に電源コードやその他の接続コード類を重ねたり、引き回したりしないでください。**
- **室内アンテナはとくに妨害電波を受けやすいので使用しないでください。**

準備編

チャンネルを自動設定する

現在ご覧になれるVHF/UHFの放送を、①から⑫のチャンネルボタン（チャンネルポジション）に自動的に割り当てます。衛星放送は⑬から⑮のボタンにあらかじめ割り当ててありますので設定しなくても見ることができます。

BS5チャンネルを見るときは、BSボタンを押して、次にチャンネル数字ボタンの「5」を押してください。

1 設定ボタンを押す。

2 選択＋／－ボタンを押して「(テレビ設定)」を選び、決定ボタンを押す。

3 「自動チャンネル設定」が選ばれていて、「入」になっていることを確認して決定ボタンを2回押す。

「自動チャンネル設定実行中」と表示され、自動的に設定が始まります。

設定が終わると、下の画面に変わります。

4 設定されたチャンネルを確認し、必要があれば変更する。

5より大きい番号を確認するには、選択－ボタンを押し続けると表示されます。

変更するには

1. 選択＋／－ボタンを押して変更したい数字（リモコンの数字ボタン）を選び、決定ボタンを押す。
   設定されたチャンネルが映ります。
2. 選択＋／－ボタンを押して設定されたチャンネルを変更し、決定ボタンを押す。
3. 手順1と2をくり返して、他のチャンネルを変更する。

5 設定ボタンを押してメニューを消す。

チャンネル設定を中断するには
「自動チャンネル設定実行中」のメッセージが出ている間にメニューボタンを押す。

UHFのチャンネル番号について
地域によっては、実際のチャンネル番号で呼ばれず、通称のチャンネル番号で呼ばれていることがあります。新聞のテレビ欄などでお確かめください。

設定されたチャンネルを変更するには

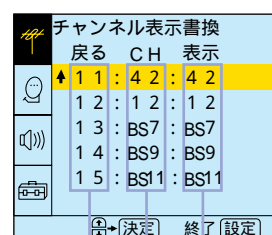
1 設定ボタンを押す。
2 選択＋／ーボタンを押して「 (テレビ設定)」を選び、決定ボタンを押す。
3 選択＋／ーボタンを押して「チャンネル設定変更」を選び、決定ボタンを押す。
4 「チャンネルを自動設定する」の手順4に従って、チャンネルを変更する。
5 設定ボタンを押してメニューを消す。

ケーブルテレビを見るには

ケーブルテレビはサービスの行われている地域のみで見ることができ、ケーブルテレビ放送会社との契約手続きが必要です。本機のケーブルテレビ受信可能チャンネルはC13〜C35です。詳しくはケーブルテレビ放送会社にお問い合わせください。

1 設定ボタンを押す。
2 選択＋／ーボタンを押して「 (テレビ設定)」を選び、決定ボタンを押す。
3 選択＋／ーボタンを押して「バンド」を選び、決定ボタンを押す。
4 選択＋／ーボタンを押して「CATV」を選び、決定ボタンを押す。
5 選択＋／ーボタンを押して「チャンネル設定変更」を選び、決定ボタンを押す。
6 「チャンネルを自動設定する」の手順4に従って、ケーブルテレビのチャンネルを設定する。
ケーブルテレビは、表示の前に「C」がつきます。
例：C24
7 設定ボタンを押してメニューを消す。

チャンネル表示を書き換えるには

1 設定ボタンを押す。
2 選択＋／ーボタンを押して「 (テレビ設定)」を選び、決定ボタンを押す。
3 選択＋／ーボタンを押して「チャンネル表示書換」を選び、決定ボタンを押す。

4 選択＋／ーボタンを押して表示を書き換えたいチャンネルを選び、決定ボタンを押す。
5 選択＋／ーボタンを押して、チャンネル表示を書き換え、決定ボタンを押す。
6 設定ボタンを押してメニューを消す。

放送のないチャンネルをとばすには

チャンネル＋／ーボタンを押したときに、放送のないチャンネルや見ないチャンネルをとばす（選局しない）ように設定することができます。

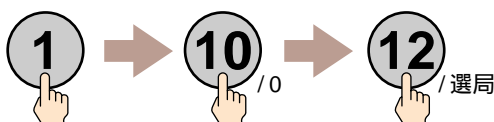
1 「チャンネルを自動設定する」の手順4の1で、放送のないチャンネルや見ないチャンネルを選ぶ。
2 選択＋／ーボタンを押して、「CH」を「0」にする。
3 設定ボタンを押してメニューを消す。

10キー選局にする

10キー選局とは

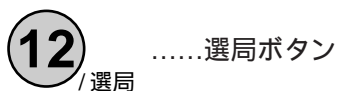
数字ボタンを押すと、通常は対応するチャンネルが映ります（「ダイレクト選局」）が、この方法で見られるチャンネルの数は15までです。見たいチャンネルの数が15を越えるときは「10キー選局」に切り換えてください。「10キー選局」にすると、リモコンの数字ボタンを組み合わせてお好きなチャンネルを選ぶことができます。

例）24チャンネル

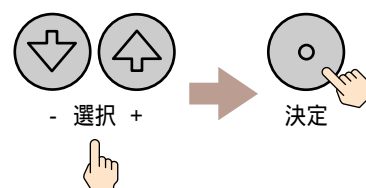
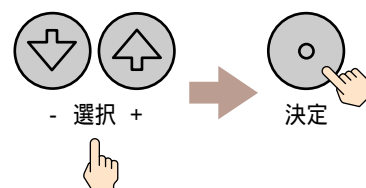
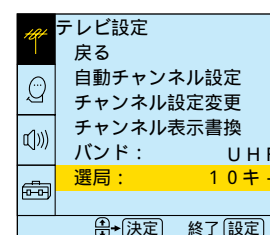
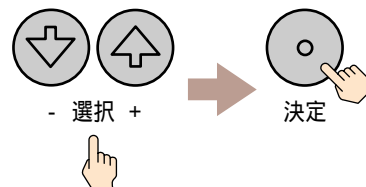
10チャンネル

BS7チャンネル

数字ボタンの10と12は以下の働きになります。

10/0 ……0を入力する

12/選局 ……選局ボタン

10キー選局に切り換える

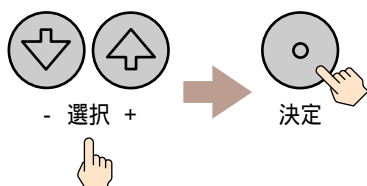
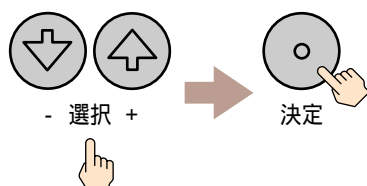
1 設定ボタンを押す。

2 選択＋／−ボタンを押して「（テレビ設定）」を選び、決定ボタンを押す。

3 選択＋／−ボタンを押して「選局」を選び、決定ボタンを押す。

4 選択＋／−ボタンを押して「10キー」を選び、決定ボタンを押す。

5 設定ボタンを押してメニューを消す。

チャンネル＋／ーボタンで選べる局を設定する

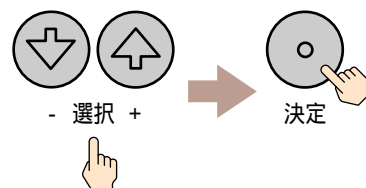
お買い上げ時はチャンネル＋／ーボタンで、1〜12チャンネルとBS7、BS9、BS11チャンネルを選ぶことができます。
これ以外のチャンネルを選ぶときや、放送のないチャンネルをとばしたいときは、次のように設定してください。

1 **設定ボタンを押す。**

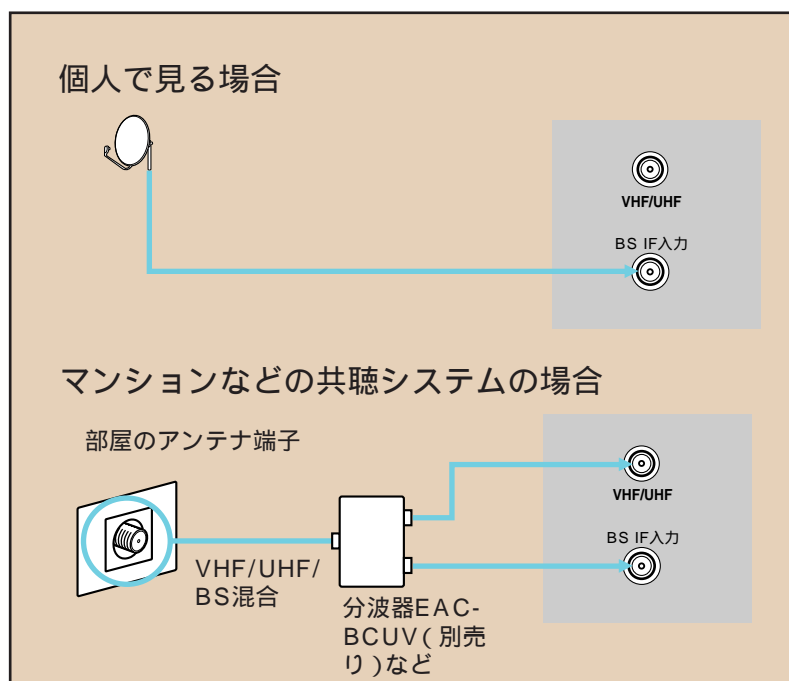
2 **選択＋／ーボタンを押して「📡（テレビ設定）」を選び、決定ボタンを押す。**

3 **選択＋／ーボタンを押して「チャンネル設定変更」を選び、決定ボタンを押す。**

4 **見たいチャンネルまたはとばしたいチャンネルを選ぶ。**

例）42チャンネルなら

例）BS7チャンネルなら

5 **選択＋／ーボタンを押して、見たいチャンネルのときは「ストップ」を、とばしたいチャンネルのときは「スキップ」を選ぶ。**

6 **複数のチャンネルを設定する場合は、手順4と5を繰り返す。**

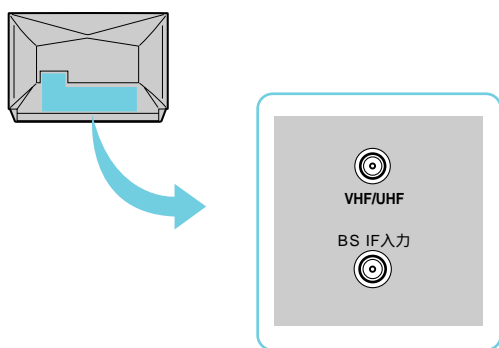
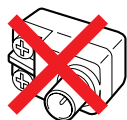
7 **設定ボタンを押してメニューを消す。**

準備編

BSアンテナをつなぐ

BS受信用の別売り商品

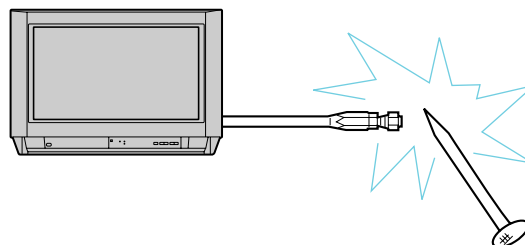
- BSアンテナ
  SAN-37J2
  SAN-37K2SET
  SAN-30BF1
  SAN-50HD2
- アンテナ取り付け金具
  ANJ-K1（壁面タイプ）
  ANJ-B1（ベランダタイプ）
- BS分配器
  EAC-BC2
  EAC-BC4
- BS/UV混合分波器
  EAC-BCUV
- BS用ブースター
  BO-BC20
- 同軸ケーブル
  SAK-C10 (10m)
  SAK-C20 (20m)
  SAK-C30 (30m)

アンテナ接続後は、「BS受信の設定をする」を行ってください。 ☞33ページ

●アンテナをつなぐ端子はテレビ裏面にあります

ご注意
- ケーブル、アンテナコネクターは、BS専用のものをお使いください。
- VHF／UHFのアンテナコネクターは、BS用には使わないでください。

ご注意
BSアンテナケーブルをつなぐときは、工具を使わずに手でしっかりと締めてください。（工具を使うと、端子をいためることがあります。）

受信状態について
次のようなときは、BSを受信できなかったり、受信状態が悪かったりしますが、故障ではありません。
- 雷、豪雨、降雨、強風などの悪天候のとき
- アンテナに雪が付着しているとき
- 春分、秋分、日食など、太陽と地球と衛星が並んだとき（食のとき）
- 強風などで、アンテナの向きが変わったとき
  ☞34ページをご覧の上、アンテナを調整してください。

サテライト分配器についてのご注意
サテライト分配器をお使いになるときは、必ず、どの端子からもコンバーターに電源を供給するタイプ（ソニーEAC-BC2またはEAC-BC4など）をお使いください。
サテライト分配器には、特定の端子からのみコンバーターに電源を供給するタイプもありますが、このタイプを使用した場合、BSチューナー内蔵ビデオデッキでも、テレビの電源を入れないと衛星放送を録画できないなどの不都合が生じることがあります。

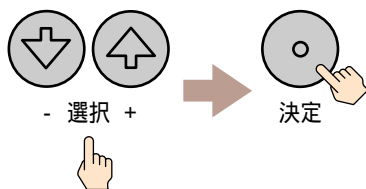
BSコンバーター電源についてのご注意
- BS IF入力端子はDC15Vが出ています。VHF、UHFのアンテナは絶対につながないでください。
- テレビ画面に「コンバーター電源を確認してください」という表示が出て、BS電源ランプが点滅しているときは、BSアンテナからのアンテナ線がショートしています。すぐにテレビ本体の電源を切り、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。

BS受信の設定をする

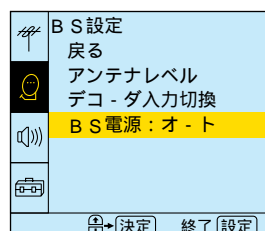
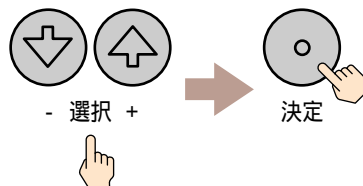
BSアンテナをつないだときは、必要に応じて「BS設定」をしてください。

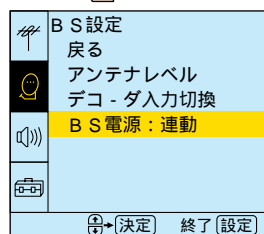
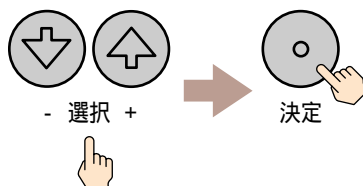
BS電源を設定する

1 BSのチャンネルにする。

2 設定ボタンを押す。

3 選択＋／−ボタンを押して「(BS設定)」を選び、決定ボタンを押す。

BSのときのみ選択できます。

4 選択＋／−ボタンを押して「BS電源」を選び、決定ボタンを押す。

5 選択＋／−ボタンを押してアンテナのつなぎかたに合わせた設定に切り換え、決定ボタンを押す。

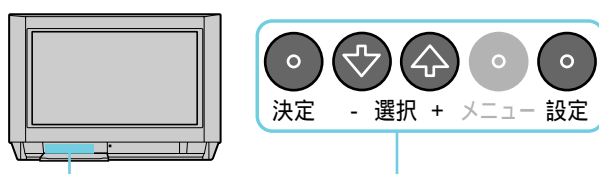
ＢＳ設定
戻る
アンテナレベル
デコーダ入力切換
ＢＳ電源：連動
決定　終了 設定

設定	内容
●オート	BSコンバーターへの電源の供給を、テレビが自動的に判断して行います。
切	BSコンバーターへの電源は供給されません。マンションなどの共聴システムのとき、選んでください。
連動	テレビがついているとき、BSコンバーターへ電源を供給します。個別アンテナでBSの映像が映ったり消えたりするときに選んでください。

（●は、お買い上げ時の設定を示します。）

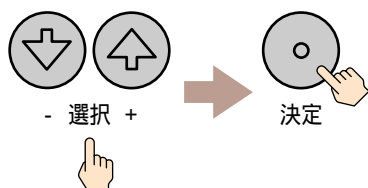
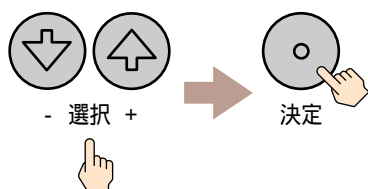
6 設定ボタンを押してメニューを消す。

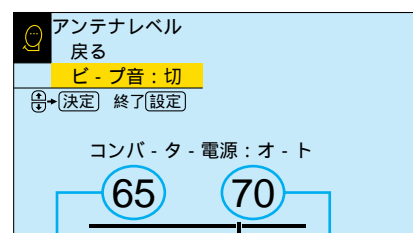
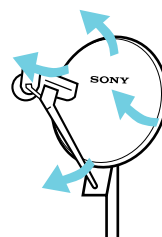
準備編

アンテナの角度を調整する

BSアンテナに直接つないだときは、アンテナの方向と角度を調整する必要があります。最良の調整ができるように、テレビの画面上の数字や音で確かめられるようになっています。

1 **放送のあるBSのチャンネルを選ぶ。**

2 **設定ボタンを押す。**

3 **選択＋／－ボタンを押して「（BS設定）」を選び、決定ボタンを押す。**

4 **選択＋／－ボタンを押して「アンテナレベル」を選び、決定ボタンを押す。**

5 **アンテナを調整する。**

アンテナレベル*の数値が最大になるように、アンテナの方向・角度を調整します。

「コンバーター電源」が「切」になっているときは、「BS電源」を「オート」または「連動」に設定してください☞33ページ。

6 **調整が終わったら、設定ボタンを押してメニューを消す。**

音を聞いて調整するには

テレビ画面で確認できないときに便利です。

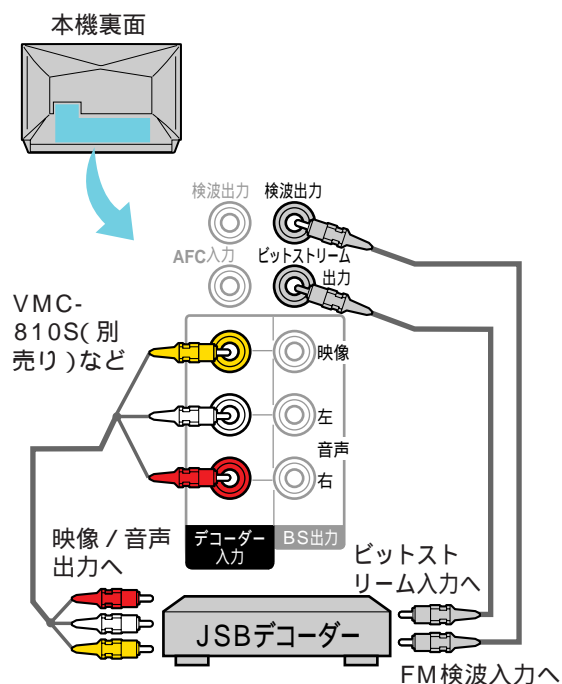
1　手順4のあと、選択＋／－ボタンを押して「ビープ音」を選び、決定ボタンを押す。
2　選択＋／－ボタンを押して「入」を選び、決定ボタンを押す。
3　手順5で連続した高音になるようアンテナを調整する。
　緑色の数値が大きいほど、高音になります。

*のついた用語は用語集をご覧ください。☞52ページ。

BSデコーダーをつなぐ

有料の衛星放送やハイビジョン放送を見るためには、デコーダー*をつなぐ必要があります。詳しくはBSの放送会社にお問い合わせください。

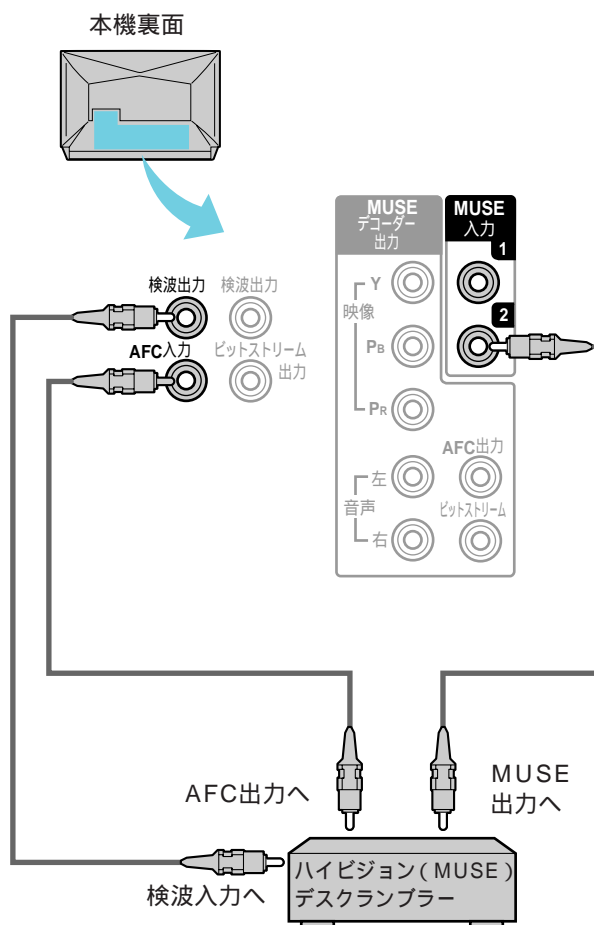
JSBデコーダー*（WOWOW/St.GIGA）

お買い上げ時は、スクランブル*のかかった放送を受信すると、接続したJSBデコーダーを通してスクランブルを解除するように設定されています。

デコーダーのスイッチの設定
BSデコーダーの「検波／映像」切り換えスイッチを「検波*」にしてください。

独立音声放送用デコーダーを接続する場合
デコーダー入力の音声端子のみ接続してください。

ご注意
BSデコーダーは必ず、デコーダー入力端子に接続してください。デコーダー入力端子に接続しないと、デコーダー入力へ自動的に切り換わりません。

ハイビジョン（MUSE*）デスクランブラーをつなぐ

ハイビジョンの有料放送を見るには、ハイビジョン（MUSE）デスクランブラーが必要です。

・ハイビジョン（MUSE）デスクランブラーは、有料のハイビジョン放送に対応するため、将来的に発売が予定されているものです。
・接続したあとは、「デコーダー入力切換」を設定してください。☞36ページ

*の付いた用語は用語集をご覧ください。☞52ページ。

準備編

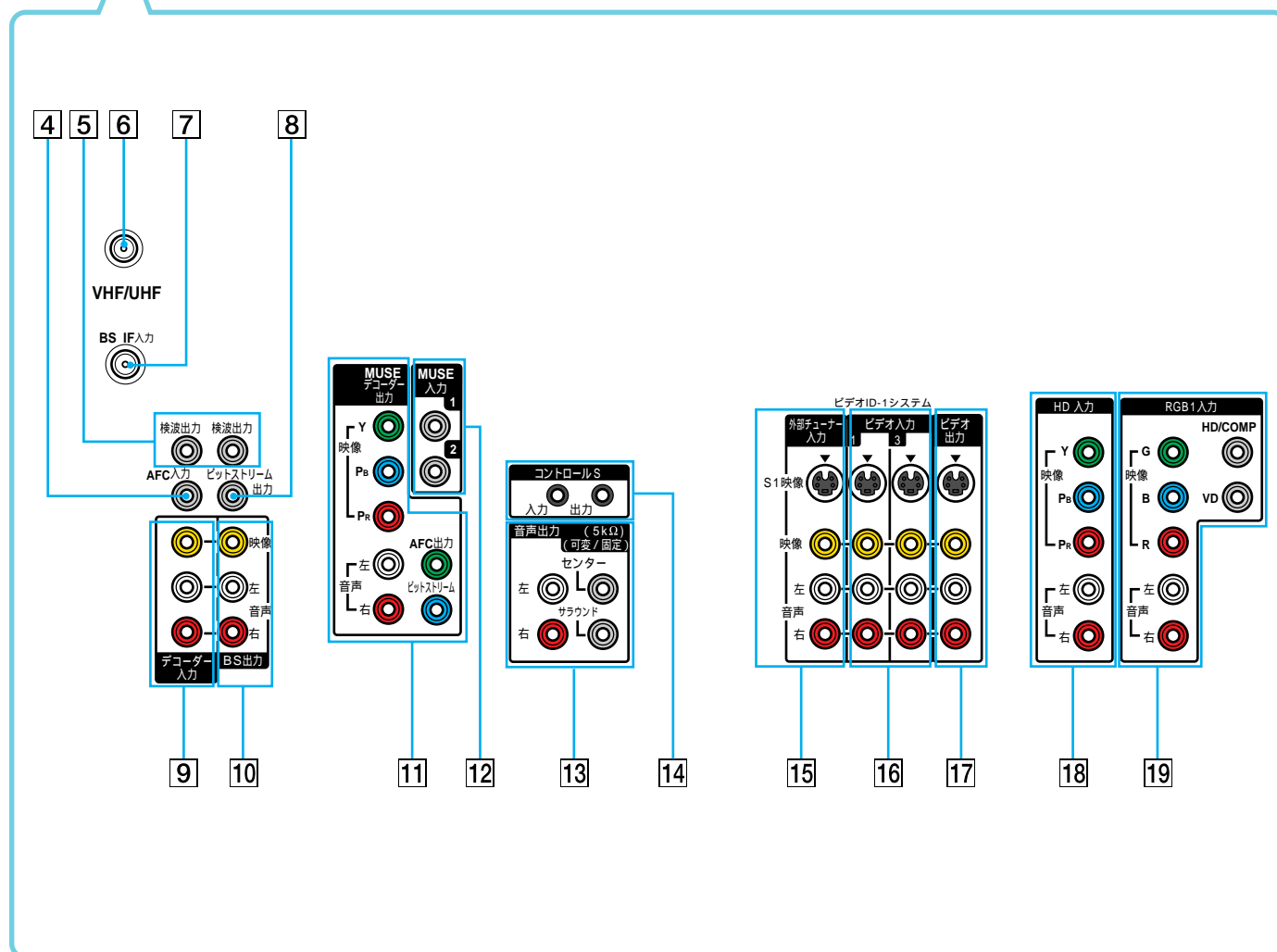
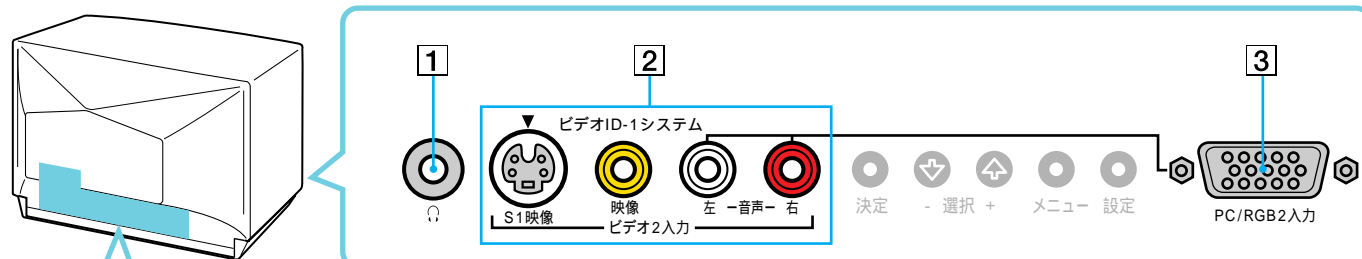
BSデコーダーをつなぐ（つづき）

デコーダー*を設定する

ハイビジョン（MUSE）デスクランブラーを接続した場合は、チャンネルごとに使用するデコーダー入力切換を設定してください。
BS（ハイビジョン放送以外）のチャンネルは、お買い上げ時の設定（オート）のままにしてください。

1. BSのチャンネルにする。
2. 設定ボタンを押す。
3. 選択＋／ーボタンを押して「（BS設定）」を選び、決定ボタンを押す。
4. 選択＋／ーボタンを押して「デコーダー入力切換」を選び、決定ボタンを押す。
5. 選択＋／ーボタンを押してチャンネルを選び、決定ボタンを押す。
   BS6〜15を設定したいときは、選択ーボタンを押し続けると、表示されます。
6. 選択＋／ーボタンを押して下記の表の設定の中から選び、決定ボタンを押す。

設定	内容
切	受信した映像／音声をそのまま映す
オート	BSのスクランブルを自動判別
MUSE2	MUSE2入力端子からの映像／音声を映す（将来、ハイビジョン（MUSE）有料放送が開始されたときのためのモード）
オート／MUSE2	将来、ハイビジョン（MUSE）の有料放送と一般の有料放送が同じチャンネルで開始されたときのためのモード

7. 手順5〜6を繰り返して、入力を変えたいチャンネルを1つずつ設定する。
8. 設定ボタンを押してメニューを消す。

＊の付いた用語は用語集をご覧ください。☞52ページ。

接続端子について（つづき）

☞のページに詳しい説明があります。

1 ヘッドホン端子
ヘッドホンをつなぎます。

2 ビデオ2入力（ID-1*）（S1映像*／映像／音声）端子☞44ページ
ゲームやビデオカメラレコーダーなどをつなぎます。

3 PC／RGB2入力☞43ページ
パソコンのRGB出力に接続します。「接続できるパソコンの信号」☞44ページを見て、信号の種類を確認してください。

4 AFC入力端子☞35ページ
ハイビジョン（MUSE）デスクランブラーなどの将来のハイビジョン機器のAFC出力端子とつなぎます。

5 検波*出力端子☞35、42ページ
BSデコーダーのFM検波入力端子とつなぎます。

6 VHF／UHFアンテナ端子☞26～27ページ
VHF／UHFアンテナ、またはケーブルテレビのケーブルをつなぎます。

7 BS IF入力端子☞32ページ
BSアンテナからのケーブルをつなぎます。（これ以外のものはつながないでください）この端子から、BSコンバーター用電源（DC15V）を供給することができます。

8 ビットストリーム*出力端子☞35ページ
BSデコーダーのビットストリーム入力端子とつなぎます。また、その他の新放送システムに対応するために用意されています。

9 デコーダー入力（映像／音声）端子☞35ページ
BSデコーダーの映像／音声出力端子とつなぎます。

10 BS出力（映像／音声）端子☞41ページ
ビデオデッキなどをつなぎます。受信しているBSの信号が常に出力されています。また、デコーダーが接続されているときは、スクランブル*を解除した信号が出力されています。

11 MUSE*デコーダー出力端子☞42ページ
映像出力端子
Y、P_B、P_Rで出力します。ハイビジョン（ベースバンド）機器の映像入力端子とつなぎます。
音声出力端子
多重音声放送のときは二重音声ボタンで選択した音声信号が出力されます。
また、ステレオ放送のときでセンター及びサラウンド*音声があるときは、常にセンター及びサラウンド音声が合成された音声が出力されます。

12 MUSE*1、2入力端子☞35、42ページ
ハイビジョン（MUSE）ビデオディスクプレーヤー、ハイビジョン（MUSE）ビデオデッキ、将来的に考えられている外部チューナー、ハイビジョン（MUSE）デスクランブラーなどとつなぎ、MUSE信号を入力する端子です。

13 音声出力（可変／固定）端子☞45ページ
オーディオ機器などをつなぎます。メニューで「音声出力」を「固定」に設定すると、接続したステレオなどで音量を調整することができます。
ハイビジョン放送のときは、MUSE音声モードを切り換えて、出力される音声信号を選ぶことができます。☞21ページ。

⑭コントロールS端子

入力端子

他の機器のコントロールS出力端子とつなぐことにより、他の機器から本機を操作することができます。

出力端子

他の機器のコントロールS入力端子とつなぐことにより、本機にリモコンを向けて他の機器を操作することができます。

⑮外部チューナー入力端子（S1映像*／映像／音声）端子

CSチューナーなどの映像／音声出力端子とつなぎます。

⑯ビデオ1、3入力（ID-1*）（S1映像*／映像／音声）端子☞40〜41ページ

ビデオデッキやマルチディスクプレーヤーなどのビデオ機器をつなぎます。

その機器からの映像・音声を映すことができます。

⑰ビデオ出力（ID-1*）（S1映像*／映像／音声）端子☞41ページ

ビデオデッキをつなぎます。

映像や音声を記録することができます。

ご注意

テレビに映っている映像、音声の信号を出力しますが、ハイビジョン放送、HD、MUSE1、2、RGB1、PC／RGB2入力の信号は出力されません。

⑱HD入力端子☞42ページ

映像入力端子

Y、P_B、P_Rで入力します。ハイビジョン（ベースバンド）機器の映像出力端子とつなぎます。

音声入力端子

ハイビジョン（ベースバンド）機器の音声出力端子とつなぎます。

⑲RGB1入力（RGB／音声／HD／COMP、VD）端子☞43ページ

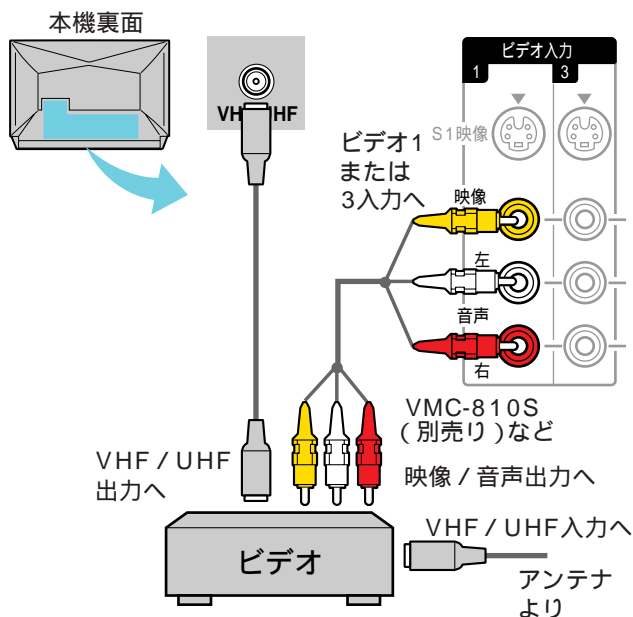
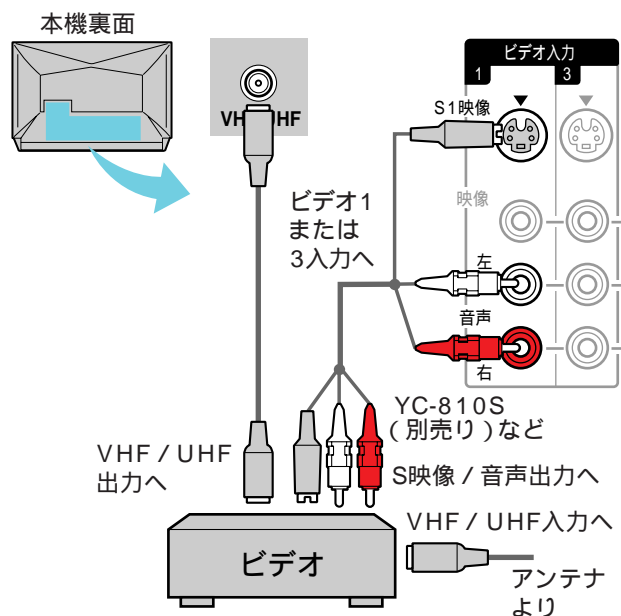
パソコンのRGB出力に接続します。「接続できるパソコンの信号」☞44ページを見て、信号の種類を確認してください。

＊のついた用語は用語集☞52ページをご覧ください。

ビデオデッキをつなぐ

ビデオデッキの使用目的によって接続のしかたが異なります。目的に合ったつなぎかたを選んでください。アンテナのつなぎかたは、「準備早わかり」(☞24ページ) およびビデオデッキの取扱説明書などをご覧ください。

基本の接続

S映像端子のないビデオデッキ

S映像端子付きビデオデッキ

S1映像*端子と映像端子の使い分けかた

接続する機器によって、S1映像端子どうしの接続がよいものと、映像端子どうしの方がよいものとがあります。下表を参考にして、より良い画像でお楽しみください。

接続する機器	おすすめする端子
テレビチューナー BSチューナー/CSチューナー	映像
レーザーディスクプレーヤー *1	映像
ビデオデッキ *2 ビデオカメラの再生	S1映像
ビデオカメラのカメラスルー	S1映像
MUSE-NTSCコンバーター*3	S1映像
ゲーム機	S1映像

*1 三次元Y/C分離回路*搭載のレーザーディスクプレーヤーの場合は、接続の違いによる画質の差はほとんど生じません。
再生モードにはデジタルを使わず、ノーマルで再生してください。

*2 TBC(タイムベースコレクター)内蔵のビデオデッキでNTSC標準信号化できる場合も原則としてS1映像端子をおすすめします。

*3 MUSE-NTSCコンバーター内蔵BSチューナーの場合は、MUSE放送をご覧になるときは、S1映像端子、そのほかのBS放送をご覧になるときは映像端子をおすすめします。

・ S映像端子のない機器の場合は、映像端子をお使いください。

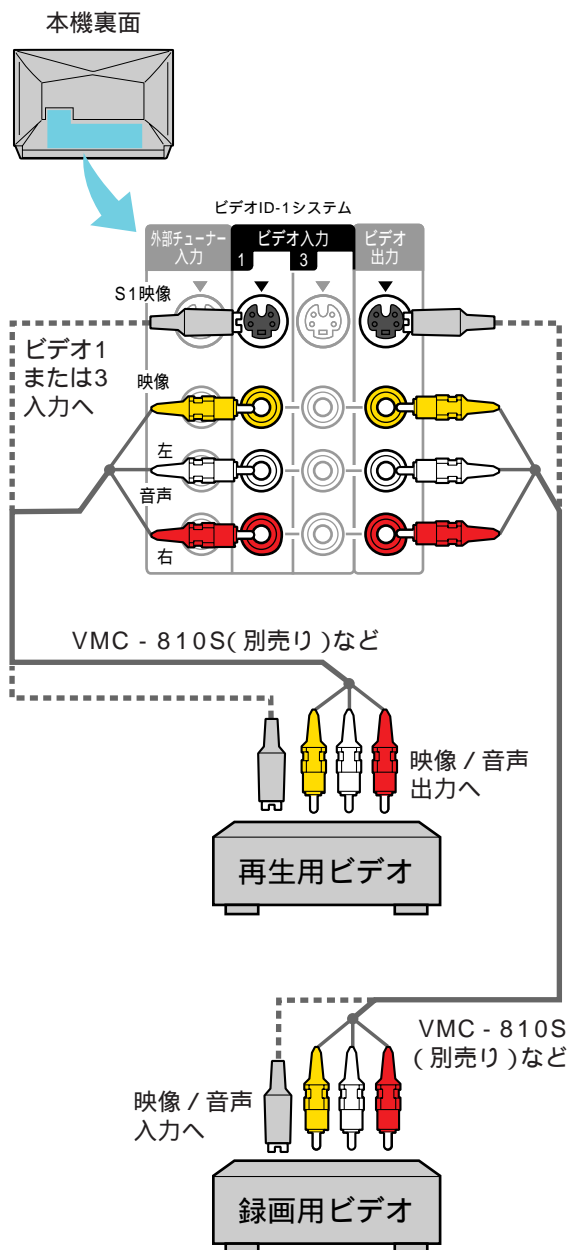
S1映像/映像の切り換え

S1映像端子と映像端子を同時に接続すると、S1映像端子につないだ機器の画像が優先されて映ります。映像端子につないだ機器の画像を見るときは、下の手順に従って「S映像」を「切」にしてください。

1 入力切換ボタンを押して設定したいビデオ入力を選ぶ。
2 メニューボタンを押す。
3 選択+/−ボタンを押して「(各種切換)」を選び、決定ボタンを押す。
4 選択+/−ボタンを押して「S映像」を選び、決定ボタンを押す。
5 選択+/−ボタンを押して「切」を選び、決定ボタンを押す。
6 メニューボタンを押してメニューを消す。

編集するときの接続

本機裏面

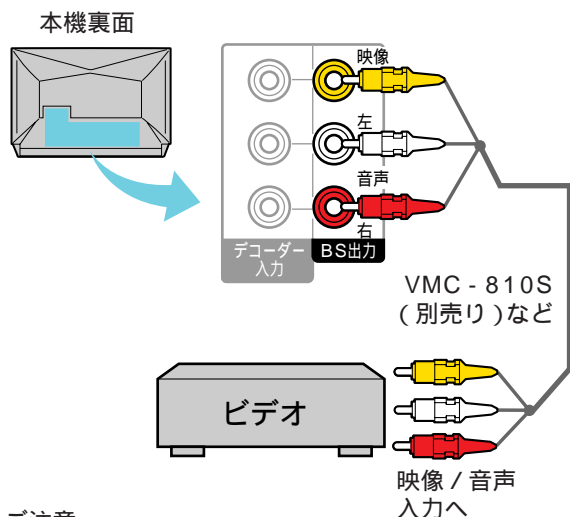
ビデオID-1システム
外部チューナー入力
ビデオ入力
1
3
ビデオ出力
S1映像
ビデオ1
または3
入力へ
映像
左
音声
右
VMC−810S（別売り）など
映像／音声
出力へ
再生用ビデオ
VMC−810S
（別売り）など
映像／音声
入力へ
録画用ビデオ

再生用、録画用ビデオの両方にS映像端子が付いている場合には、S映像端子接続をお勧めします。

ご注意

1台のビデオ機器に、本機からの出力と入力の両方の端子を同時に接続しないでください。画像が乱れることがあります。

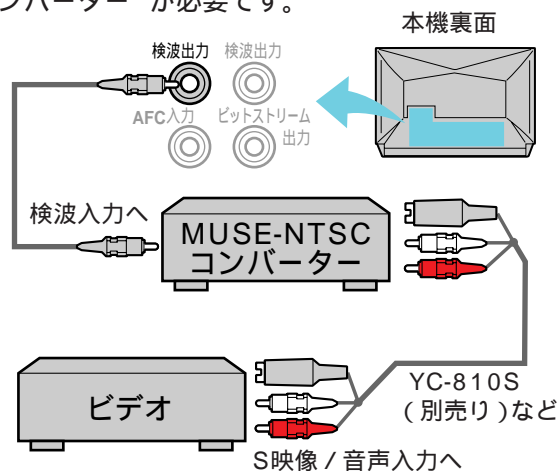
*のついた用語は用語集をご覧ください。☞52ページ

衛星放送を録画するための接続

テレビのチューナーを使って衛星放送を録画する場合は、以下のようにつないでください。

ご注意

衛星放送やハイビジョン放送を録画しながら、テレビ（VHF、UHF、CATV）やビデオを見るときは、BS録画固定（☞18ページ）をしておくと録画ミスを防ぐことができます。

MUSE-NTSCコンバーターをつなぐ

MUSE方式ハイビジョン放送をお手持ちのビデオデッキで録画するには、別売りのMUSE-NTSCコンバーター*が必要です。

画質は現行放送方式（NTSC）と同等となります。

NTSCに変換せずに録画するには「ハイビジョンのビデオなどをつなぐ」（☞42ページ）を行ってください。

ハイビジョンのビデオなどをつなぐ

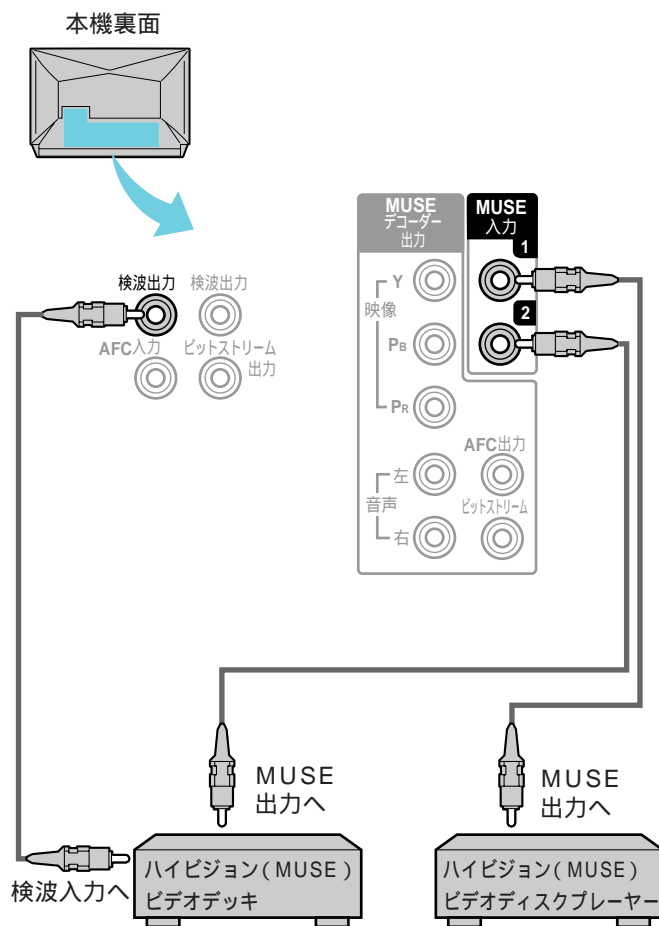
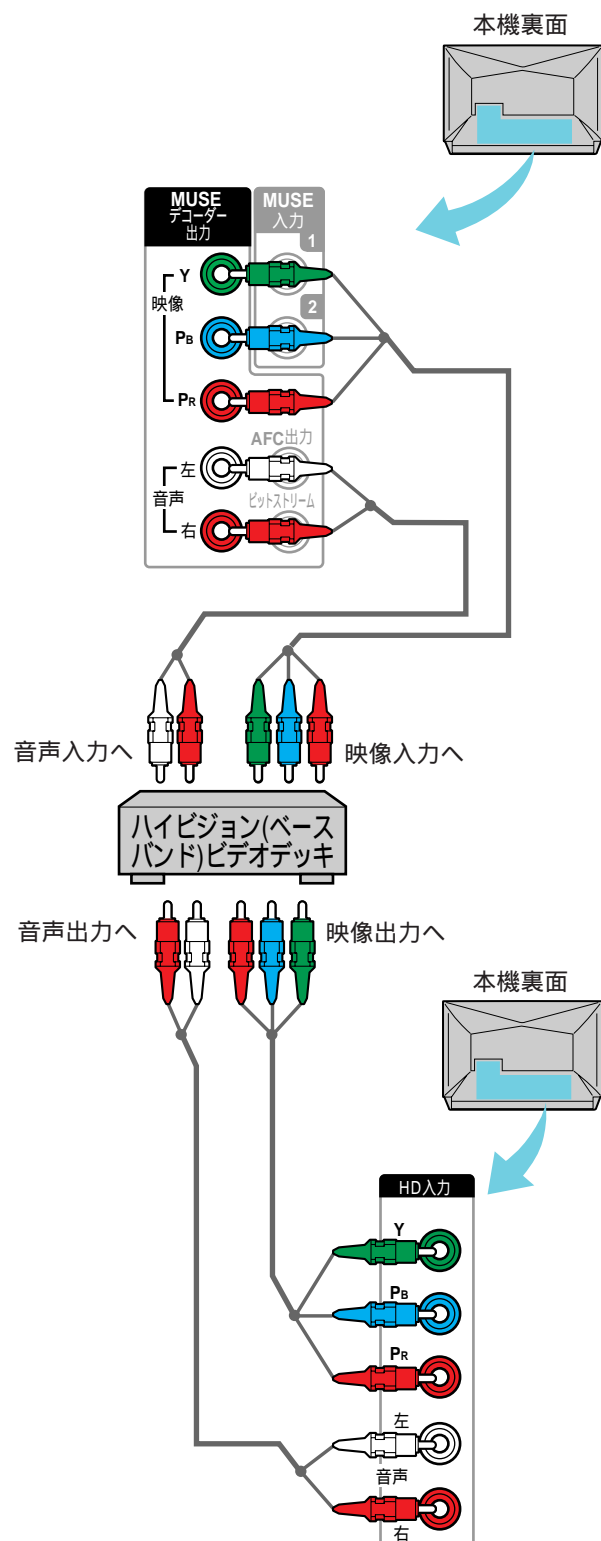
ハイビジョンのビデオやレーザーディスクをつなぐことができます。

ハイビジョン（MUSE）機器をつなぐ

本機裏面

検波出力
検波出力
AFC入力
ビットストリーム出力

MUSEデコーダー出力
MUSE入力
1
2
映像
Y
PB
PR
AFC出力
音声
左
右
ビットストリーム

MUSE出力へ
MUSE出力へ
検波入力へ
ハイビジョン（MUSE）ビデオデッキ
ハイビジョン（MUSE）ビデオディスクプレーヤー

ハイビジョン（ベースバンド）機器をつなぐ

パソコンやゲームをつなぐ

パソコンなどをつなぐ

G信号に含まれている同期信号で動作させるときは、HD/COMP入力端子、VD入力端子への接続は不要です。

⚠注意

パソコンなどを本体前面のPC／RGB2入力端子に接続した場合、コードに足を引っ掛けないように充分ご注意ください。テレビ本体やパソコンの落下や、端子部を破損する恐れがあります。

接続ケーブルについて

パソコンによって接続のしかたが異なります。詳しくはパソコンの取扱説明書をご覧ください。

パソコンの種類	使用するケーブル／アダプター
DOS／V コンピューター	市販ケーブル （3列15ピンDサブ／3列15ピンDサブ）
アップル コンピューター	市販ケーブル （3列15ピンDサブ／3列15ピンDサブ） ＋ 市販Macintosh用変換アダプター13インチモードのもの

準備編

つづく

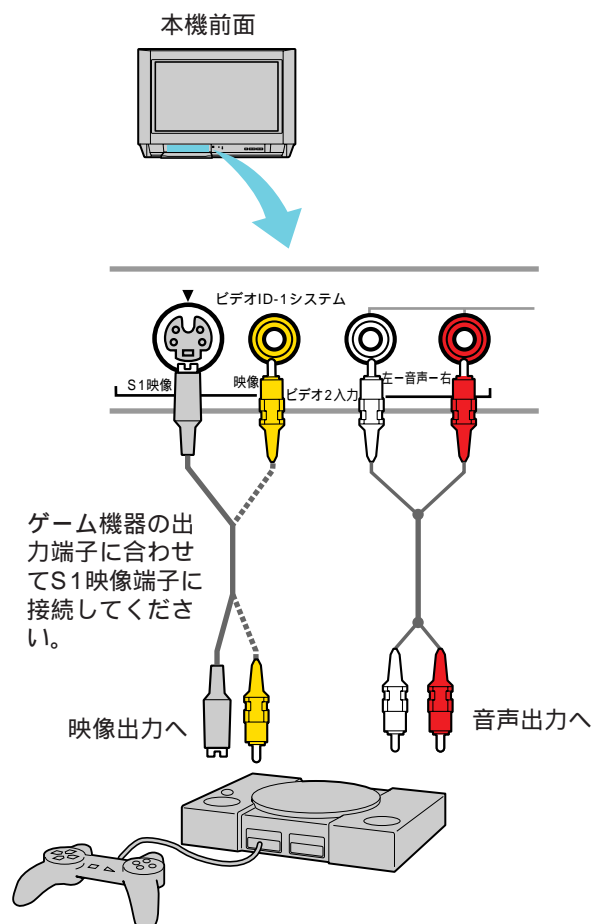
接続できるパソコンの信号

パソコンは種類によって信号形式が異なります。
下記の信号のパソコンであることを確認の上接続して下さい。

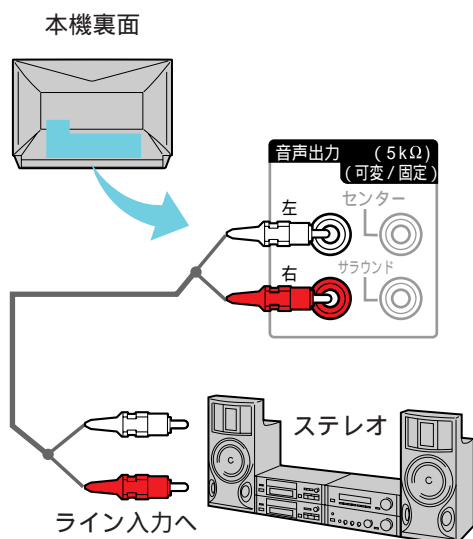
対応信号	表示（ドット×ライン）	水平周波数	垂直周波数
VGA*[1]グラフィックス	640×480	31.5KHz	60.0Hz
VGA テキスト	640×400	31.5KHz	70.0Hz
Macintosh*[2] 13"カラー	640×480	35.0KHz	66.7Hz

*[1] VGAは米国IBM社の登録商標です。
*[2] Macintoshはアップルコンピューター社の登録商標です。

ご注意
- 上記の対応信号以外のパソコンを接続すると、故障の原因となるおそれがありますので、接続しないで下さい。
- パソコンの映像は、画質モードを「AVメモリー」の「標準」値にしてご覧になることをお勧めします。

ゲーム機をつなぐ

ゲーム機器は本体裏面のビデオ1、3入力端子につなぐこともできます。

ステレオシステムをつなぐ

オーディオ機器を接続するには、音声出力（可変／固定）端子を使います。

接続したオーディオ機器で音量を調節するには

1 本体の設定ボタンを押す。
2 選択＋／－ボタンを押して「🔊（音声設定）」を選び、決定ボタンを押す。
3 選択＋／－ボタンを押して「音声出力」を選び、決定ボタンを押す。
4 選択＋／－ボタンを押して「固定」を選び、決定ボタンを押す。
5 設定ボタンを押してメニューを消す。

⚠注意

「音声出力」を「固定」に切り換えるときは、接続するスピーカーの音量を最小にしてから切り換えてください。「固定」になっているときは可変時の最大の音量が出力されます。

テレビのスピーカーの音声を切るには

（ヘッドホンの音声も切れます。）

1 本体の設定ボタンを押す。
2 選択＋／－ボタンを押して、「🔊（音声設定）」を選び、決定ボタンを押す。
3 選択＋／－ボタンを押して、「スピーカー」を選び、決定ボタンを押す。
4 選択＋／－ボタンを押して、「切」を選び、決定ボタンを押す。
5 設定ボタンを押してメニューを消す。

ハイビジョン放送／MUSE*の4chステレオ（3-1方式）を楽しむには

テレビの内蔵スピーカーのみで聴く

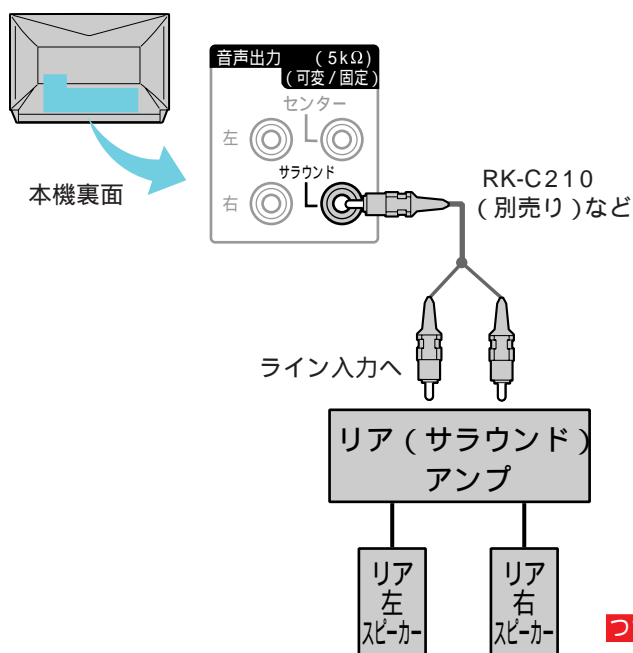
メニューで「MUSE音声モード：1」（お買い上げ時の設定）を選ぶと、センター及びサラウンド（リア）の音声がテレビの左右のスピーカーに合成されて出ます。☞21ページ。
テレビ本体だけでハイビジョンの音声を聴くことができます。

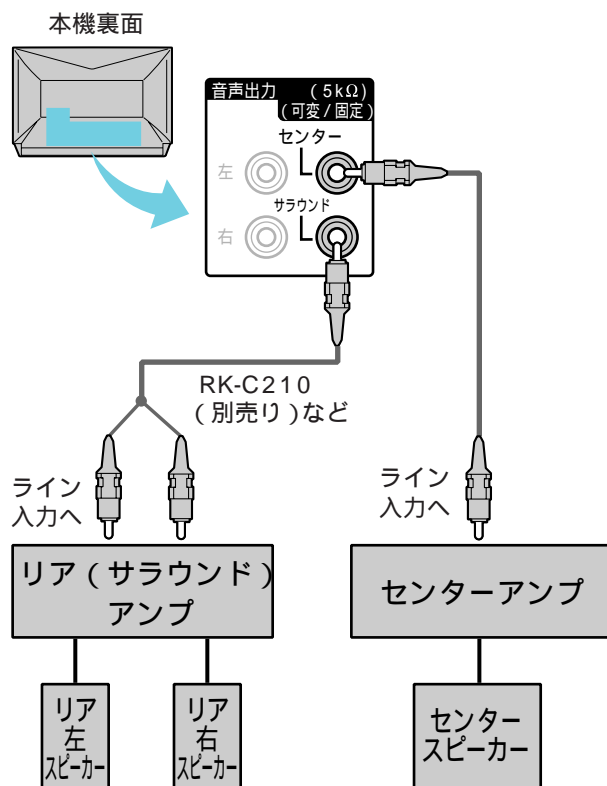
テレビの内蔵スピーカーとリア（サラウンド）スピーカーで聴くには

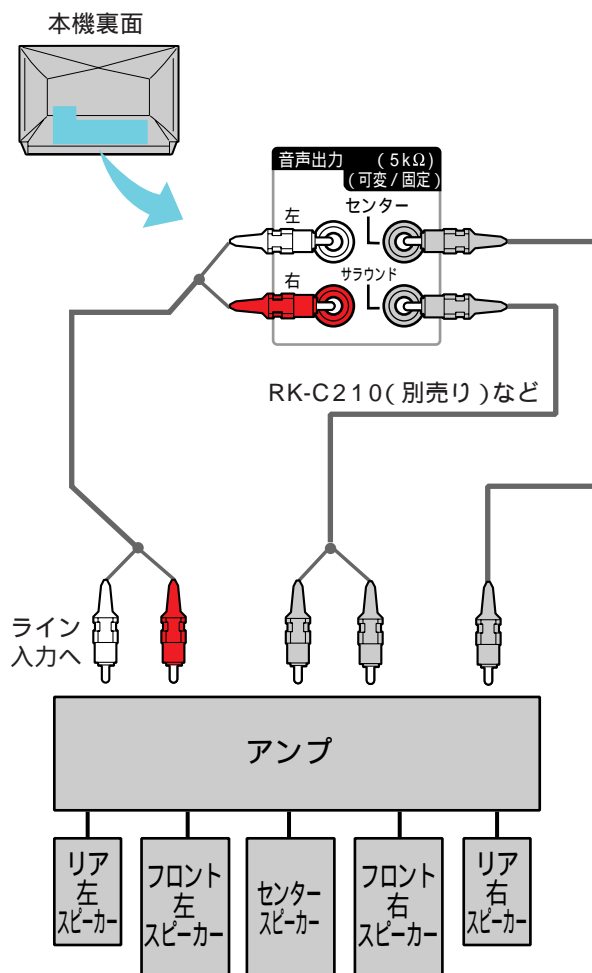
サラウンド効果をお楽しみいただくためには、別売りのリアスピーカーをつなぎメニューで「MUSE音声モード：2」を選びます。センター音声はテレビの内蔵スピーカーに合成して出力されます。☞21ページ。
メニューで「音声出力」を「可変」（お買い上げ時の設定）に設定しておくとテレビの音量を調整すると同時にリアスピーカーの音量も調整することができます。設置時にテレビの内蔵スピーカーとのレベル合わせをリアアンプ側のボリューム／アッテネーターで行ってください。

*のついた用語は用語集をご覧ください。☞52ページ。

準備編

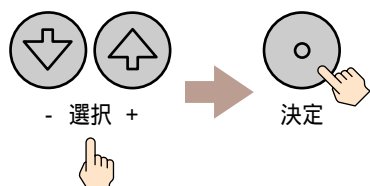
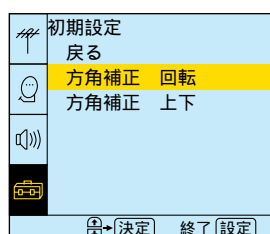
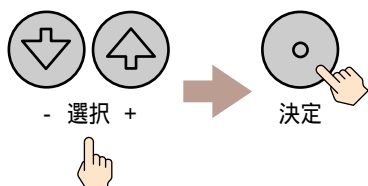
つづく

テレビの内蔵スピーカーとセンタースピーカー、リアスピーカーで聴くには

本格的なサラウンド効果をお楽しみいただくためには別売りのセンタースピーカー及びリア（サラウンド）スピーカーをつなぎ、メニューで「MUSE音声モード：3」を選びます。☞21ページ。
メニューで「音声出力」を「可変」に設定しておくとテレビの音量を調整すると同時にセンターおよびリアスピーカーの音量も調整することができます。設置時にテレビの内蔵スピーカーとのレベル合わせをセンター、リアアンプ側のボリューム／アッテネーターで行ってください。

フロント左／右、センター、リア（サラウンド）スピーカーで聴くには

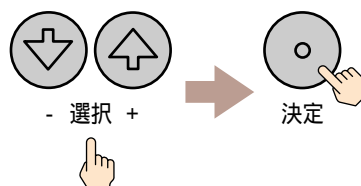
さらに臨場感のある音声をお楽しみいただく場合、またはテレビの映像をプロジェクターなどでご覧になる場合には、テレビのスピーカーの音声を切って、外部スピーカーでのみお聴きになることをおすすめします。メニューで「MUSE音声モード：3」（☞21ページ）、及び「スピーカー：切」（☞45ページ）を選んでください。

地磁気による画像の傾きを補正する

設置後、テレビの向きを決めたら、方角補正をしてください。地磁気の影響を軽減することができ、よりよい画面をお楽しみいただけます。

1 設定ボタンを押す

2 選択＋／－ボタンを押して「（初期設定）」を選び、決定ボタンを押す。

3 選択＋／－ボタンを押して「方角補正　回転」を選び、決定ボタンを押す。

4 選択＋／－ボタンを押して調整する。

画像を見ながら画面内の水平線がいちばん水平になるように調整します。

数値は－10～＋10の範囲で変わります。

5 設定ボタンを押してメニューを消す。

ご注意

- 高圧線の近くや鉄筋コンクリート造りの家などでは、うまく補正されないことがありますので、お買い上げ店にご相談ください。
- テレビの近くに大きなスピーカーがあると、うまく補正されません。スピーカーから離して設置してください。

パソコンの画面位置を上下に補正する

（RGB1、PC／RGB2入力のときに調整できます）

設置時、方向によっては画面の上下位置がずれることがあります。つぎの方法で補正してください。

1 本体の設定ボタンを押す。

2 選択＋／－ボタンを押して「（初期設定）」を選び、決定ボタンを押す。

3 選択＋／－ボタンを押して「方角補正　上下」を選び、決定ボタンを押す。

4 選択＋／－ボタンを押して、画面の上下位置を補正する。

5 設定ボタンを押してメニューを消す。

補正された画面の位置は電源を切っても変わりません。

故障かな？と思ったら

下記の項目の他になんらかの異常がある場合、リモコンの元どおりボタンを押してみてください。右記以外の項目は、テレビがお買い上げ時の状態に戻ります。

・ チャンネル設定
・ 時計
・ BS設定など

テレビが映らない	■電源コードが外れていませんか？ ■テレビ本体の電源は入っていますか？ ■信号は入力されていますか？ 信号が入力されていない状態で10分たつと、自動的にスタンバイ状態になります。
画像は出るが、音が出ない	■音量が下がりきっていませんか？ ■画面に「消音」の表示が出ていませんか？ ■「スピーカー」が「切」になっていませんか？（☞45ページ） ■ヘッドホンをつないでいませんか？
色がつかない、色がおかしい、画面が暗い	■画／音モードボタンを押してください。（☞15ページ） ■画質調整ボタンを押して調整してください。（☞16ページ）
画像が二重、三重になる	■アンテナ線がはずれかかっていませんか？山やビルで反射した電波がアンテナに飛び込み、画像が二重、三重になることがあります。 ■アンテナの位置、方向、角度を調整してください。 ■突然画像が二重、三重になった場合は、お買い上げ店などにご相談ください。
雪が降るような画面、うすい画面、風がふくとちらつく	■アンテナが風でこわれたり曲がったりしていませんか？ ■アンテナの寿命ではありませんか？通常3～5年、海辺では1～2年です。 ■アンテナ線がはずれていませんか？
斑点や点模様が走る	■ヘアードライヤー、自動車、バイクなどからの雑音電波が原因です。 アンテナはなるべく道路から離してください。
画像が傾く	■本体の設定ボタンで「方角補正　回転」を選び調整してください。（☞47ページ）
特定のチャンネルだけが映らない	■チャンネルを合わせ直してみてください。（☞28ページ）
雑音が多い	■フィーダー線を使用していませんか？ ■本体の設定ボタンで「オートステレオ」を「切」にしてください。（☞20ページ）
リモコンの数字ボタンを押してもチャンネルが選べない	**ダイレクト選局の場合（☞30ページ）** ■ダイレクト／10キー選局が「ダイレクト」になっていますか？ **10キー選局の場合（☞30ページ）** ■ダイレクト／10キー選局が「10キー」になっていますか？ ■11チャンネルは①を2回、12チャンネルは①と②を続けて押しましたか？ ■最後に続けて⑫／選局を押しましたか？（スタンバイ／スリープランプ点灯中にチャンネル数字ボタンを押したときはチャンネル数字ボタンに続けて⑫／選局ボタンを押さないと、前回テレビを消したときのチャンネルが映ります。） **その他** ■リモコンの電池が消耗していませんか？

キャビネットから「ピシッ」というきしみ音が出る	■周囲の温度変化でキャビネットが伸縮するときに「ピシッ」という音が出ることがあります。故障ではありません。
電源を入れたときにブーンという音がする	■地磁気などの影響を取り除くために動作させる消磁回路の動作音です。故障ではありません。
テレビの電源を切った直後に、テレビの後ろからパチパチ音がする	■テレビ内部で発生する静電気が原因です。故障ではありません。
BS（衛星放送）が映らない／乱れている	**BSアンテナを直接つないでいる場合** ■メニューの「BS設定」で「BS電源」が「オート」または「連動」になっていますか？（☞33ページ） ■BSケーブルのコンバーター側は防水になっていますか？ ■アンテナの大きさは適切ですか？ ■アンテナの前方に障害物はありませんか？ ■アンテナの方向・角度を調整しましたか？（☞34ページ） **BSアンテナに分配器を使っている場合** ■コンバーター用電源を供給する機器のスイッチが「入」側になっていますか？ **マンションなどの共聴システムの場合** ■「BS設定」で「BS電源」が「オート」または「切」になっていますか？（☞33ページ） ■VHF/UHFとBSが一本のケーブルになっている場合、分波器を使っていますか？（☞32ページ） ■ケーブルの芯線は、コネクターに正しく入っていますか？ **その他** ■放送時間を確認してください。 ■雨や雪が降ると悪くなることがあります。 ■BS専用のケーブルを使っていますか？（☞32ページ） ■アンテナコネクター（バルーン）を使っていませんか？ ■「BS設定」で「デコーダー入力切換」を切り換えていませんか？（☞36ページ）
BS（衛星放送）の画像は出るが音が出ない	■スクランブル*放送ではありませんか？
BS（衛星放送）のチャンネルが切り換わらない	■BS録画固定をしていませんか？（☞18ページ）
「コンバーター電源を確認してください」という文字がでたら	■テレビ裏面のBS IF入力につないだアンテナ線がショートしています。電源を切って、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。
ビデオを再生したとき画像が出ない	■S映像入力なのに、映像入力モードにしていませんか？（☞40ページ）
パソコンの映像が乱れる	■パソコンの信号は本機の対応信号でしょうか？
パソコンの映像が欠ける	■本機では「メニュー」や「設定」の下記の項目で、画面の表示範囲や位置を調整できます。設定値をご確認下さい。 メニュー：「画面モード」「画面位置上下」「縦サイズ」「画面位置左右」「横サイズ」 設　　定：「方角補正回転」「方角補正上下」
パソコン映像の色がおかしい・にじむ	■本機は「メニュー」の「画質調整」で、RGB1入力では「ピクチャー」「色あい」「色の濃さ」「明るさ」「シャープネス」「NR」「VM」「Hホワイト」「色温度」を、PC／RGB2入力では「ピクチャー」「明るさ」「色温度」を調整できます。調整値をご確認下さい。（☞16ページ）
パソコン映像の縦の線が曲がる	■「メニュー」の「AVメモリー」の画質調整を「標準」にしてください。（☞17ページ）
パソコンの映像が映らない	■正しく接続されていますか？ ■ケーブルまたはアダプターは正しいものを使っていますか？
パソコン映像で波模様や点状の模様（モアレ）が出る	■パソコン信号の解像度、ブラウン管のピッチ、またはいくつかの画像パターンのドットピッチ間の関係によっては、モアレが出ることがあります。
つないだスピーカーから音が出ない	■「MUSE音声モード」は正しく選択されていますか？（☞21ページ）
つないだ機器の画像、音が出ない	■接続コードが外れていませんか？ ■リモコンの入力切換ボタンを押してみてください。
スタンバイ／スリープランプが点滅していたら	■点滅の回数を数えて、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

*のついた用語は用語集をご覧ください。☞52ページ

保証書とアフターサービス

保証書について

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げの店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。ただし、ブラウン管代およびブラウン管の交換にともなう技術料、出張料は2年間無料です。

アフターサービスについて

調子が悪いときはまずチェックを

➡「故障かな？と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかをお調べください。

それでも具合が悪いときはサービス窓口へ

➡ お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にある、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

➡ 保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

➡ 修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、カラーテレビの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後でも、故障個所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。
なお、補修用性能部品の保有期間は通商産業省の指導によるものです。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

型名：KW-28HD2
故障の状態：できるだけくわしく
購入年月日：

お買い上げ店 TEL.
お近くのサービスステーション TEL.

This television is designed for use in Japan only and is not to be used in any other country.

主な仕様

システム

受信方式　NTSC方式、MUSE方式
1125/60高精細度テレビジョン方式
受信チャンネル　VHF 1〜12チャンネル
UHF 13〜62チャンネル
CATV C13〜C35
BS1、3、5、7、9、11、13、15
ブラウン管*　HDトリニトロン110度偏向28型
＊テレビの型（28型など）は画面寸法を表すものではなく、ブラウン管の外径対角寸法を基準とした大きさの目安です。
画面寸法　28型57.5×32.4、66cm
（幅×高さ、対角径）
使用スピーカー　8cm×4

入出力端子

アンテナ端子　VHF/UHF、BS IF 75Ω F型コネクター
（コンバーター用電源出力、DC15V最大4W）
音声出力　ピンジャック、4チャンネル
0〜500mVrms（音声可変、100%変調時）
出力インピーダンス 5kΩ以下
ビデオ1、2、3入力端子
S1映像：
4ピンミニDIN
Y：1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負
C：0.286Vp-p（バースト信号）、75Ω
映像：ピンジャック、1Vp-p、
75Ω、不平衡、同期負
音声：ピンジャック、2チャンネル、
500mVrms、インピーダンス47kΩ
ビデオ出力端子　S1映像：4ピンミニDIN
Y：1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負
C：0.286Vp-p（バースト信号）、75Ω
映像：ピンジャック、1Vp-p、
75Ω、不平衡、同期負
音声：ピンジャック、2チャンネル、
500mVrms、インピーダンス 5kΩ以下
ヘッドホン端子　ステレオミニジャック
負荷インピーダンス16Ω以上
BS出力端子　映像：ピンジャック、1Vp-p、
75Ω、不平衡、同期負
音声：ピンジャック、2チャンネル、標準出力レベル 250mVrms（FS-18dB時）、出力インピーダンス 5kΩ以下
検波出力端子　ピンジャック×2、75Ω、0.67Vp-p
ビットストリーム出力端子
ピンジャック、75Ω、0.5Vp-p
デコーダー入力端子
映像：ピンジャック、1Vp-p、
75Ω、不平衡、同期負
音声：ピンジャック、2チャンネル、標準入力
250mVrms、インピーダンス47kΩ以上
AFC入力端子　ピンジャック、75Ω
外部チューナー入力端子
S1映像：
4ピンミニDIN
Y：1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負
C：0.286Vp-p（バースト信号）、75Ω
映像：ピンジャック、1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負
音声：ピンジャック、2チャンネル、標準入力
250mVms、インピーダンス47kΩ以上

MUSEデコーダー出力端子
映像：ピンジャックY：1Vp-p（3値同期付）
P_BP_R：±350mVp-p
3値同期：±300mVp-p
出力インピーダンス 75Ω
音声：2出力ピンジャック
最大出力レベル2Vrms
出力インピーダンス 4.7kΩ以下
AFC：0.5Vp-p インピーダンス 75Ω
ビットストリーム：
ピンジャック、0.5Vp-p
出力インピーダンス 75Ω
MUSE1、2入力端子　2入力ピンジャック
0.4Vp-p（FM）、0.8Vp-p（AM）
入力インピーダンス 75Ω
HD入力端子　映像：ピンジャックY　1Vp-p（3値同期付）
P_BP_R：±350mVp-p
3値同期：±300mVp-p
入力インピーダンス 75Ω
音声：2入力ピンジャック
500Vrms
入力インピーダンス 47kΩ以上
RGB1入力端子　映像：ピンジャック、アナログ0.7Vp-p、
75Ω、同期負
音声：ピンジャック、2チャンネル
同期：ピンジャック、TTLレベル、正負極性
PC／RGB2入力端子　D-SUB、3列、15ピン
RGB映像信号：アナログ0.7Vp-p、75Ω
水平同期信号：TTLレベル、正負極性
垂直同期信号：TTLレベル、正負極性
コントロールS入出力端子
ミニジャック

電源部・その他

消費電力　215W（リモコン待機時2.5W）
年間消費電力量**　320kW·h/年
＊＊年間消費電力量とは：省エネルギー法に基づいて、型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での平均視聴時間（4〜5時間）を基準に算出した、一年間に使用する電力量です。

最大外形寸法　75.4×51.5×52.6cm
（幅×高さ×奥行き）
質量　約47.6kg
電源　AC100V、50/60Hz
付属品　リモートコマンダー
RM-J190（1）
乾電池　単3型（1）
アンテナ接続ケーブル（1）
取扱説明書（1）
保証書（1）
ソニーご相談窓口のご案内（1）
安全のために（1）
安全点検のおすすめ（1）

別売りアクセサリー

テレビスタンド　SU-28S1
SU-28V
ビデオトレイ　SU-100TR
ステレオヘッドホン　MDR-AV55
MDR-IF410K
テレビラック固定ベルト
BLT-R10
BSアンテナなど
接続ケーブルなど

・このテレビは日本国内用ですから、電源電圧、放送規格の異なる外国ではお使いになれません。
・仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

用語集

ID-1方式（ビデオ ID-1システム）

ビデオ信号の一部にデジタルのID記号を加算することにより画面の縦横比（16：9、4：3またはレターボックス）の情報を記録するシステムの名称です。本機はID-1方式に対応しています。

アンテナレベル

アンテナから入ってくる電波の強さです。天候や気温、時間帯、アンテナケーブルの長さなどによって影響を受けます。

Aモード

BSで送信される音声の種類のひとつ。音質はFM放送なみです。4チャンネルのうち2チャンネルを使って独立音声が放送されることがあります。
サンプリング周波数：32kHz
量子化：14/10ビット　準瞬時圧伸方式

S-1方式（S1映像）

S映像のC端子へ直流5Vを重畳することにより画面の縦横比（16：9または4：3）の情報を記録するシステムの名称です。本機はS-1方式に対応しています。

検波

衛星から送られてきた信号そのものを取り出すことです。検波信号を処理して、映像・音声に変換しています。

サラウンド

音声に臨場感を出す機能です。
劇場やコンサートホールでは、直接聞こえてくる音（直接音）と、その音が壁などで反射して少し遅れて届く音（間接音）が混ざり合って聞こえてきます。サラウンドはこれを応用したもので、わずかに遅らせた音声信号を混ぜ合わせることで臨場感を出します。

三次元Y／C分離回路

本機内部にある回路で、映像信号を構成するY信号とC信号を別々に処理し、より鮮明な画像を再現します。

シネマスコープサイズ

映像ソフト画面の縦横比が1：2.35になっているものをこのように呼びます。ビスタサイズよりも横長になります。一般的には黒帯に字幕の入る映画などの画像サイズです。

スクランブル

映像、音声の信号を暗号化することです。民間衛星放送などでは、契約者以外には視聴できないように、電波にスクランブルをかけて（暗号化して）送信しています。スクランブルのかかった放送を視聴するためには、解読器（デコーダーなど）が必要です。

チューナー

電波を受け入れて各チャンネルに合わせるための機器です。
本機はテレビチューナーおよびBSチューナーを内蔵しています。

デコーダー

スクランブルのかかったBS放送などのスクランブルを解除して視聴するための解読器です。

独立音声放送

BSでは、ひとつのチャンネルでテレビ画面の音声とは別の、音声だけの放送が送られている場合があります。これが独立音声放送です。

DOS/Vコンピューター

VGAのビデオボードを備えたIBM PC系のパソコン。日本語表示をできるようにしたDisk Operating Systemを採用したパソコンの名称です。

ハイビジョン実用化試験放送

1996年10月現在、BS9チャンネルではMUSE方式ハイビジョン実用化試験局による放送が行われています。

Bモード

BSで送信される音声の種類のひとつ。CDなみの高音質が楽しめるので、音楽番組などで使われています。
サンプリング周波数：48kHz
量子化：16ビット　直線量子化

ビットストリーム

衛星放送の電波で送られてくるデジタル信号です。音声とデータがデジタル化されています。

ビスタサイズ

映像ソフト画面の縦横比が1：1.85になっているものをこのように呼びます。一般的には画像の中に字幕が入っている映画などの画像サイズです。

VGA

VGAは米国IBM社の登録商標です。同IBM社で採用されたグラフィックス機構でアナログRGBと640×480ドットの解像度を持ち、最大256色を同時発色できます。DOS/Vを利用するには、VGAのビデオ回路が必要となります。

偏波

衛星放送の電波の流れの型です。
BSは円偏波です。

Macintosh

Macintoshはアップルコンピューター社の登録商標です。

MUSE

ハイビジョンの帯域圧縮伝送方式です。27MHzのハイビジョンの信号を8MHzに圧縮して、衛星放送の1チャンネル分で送れるようにしています。

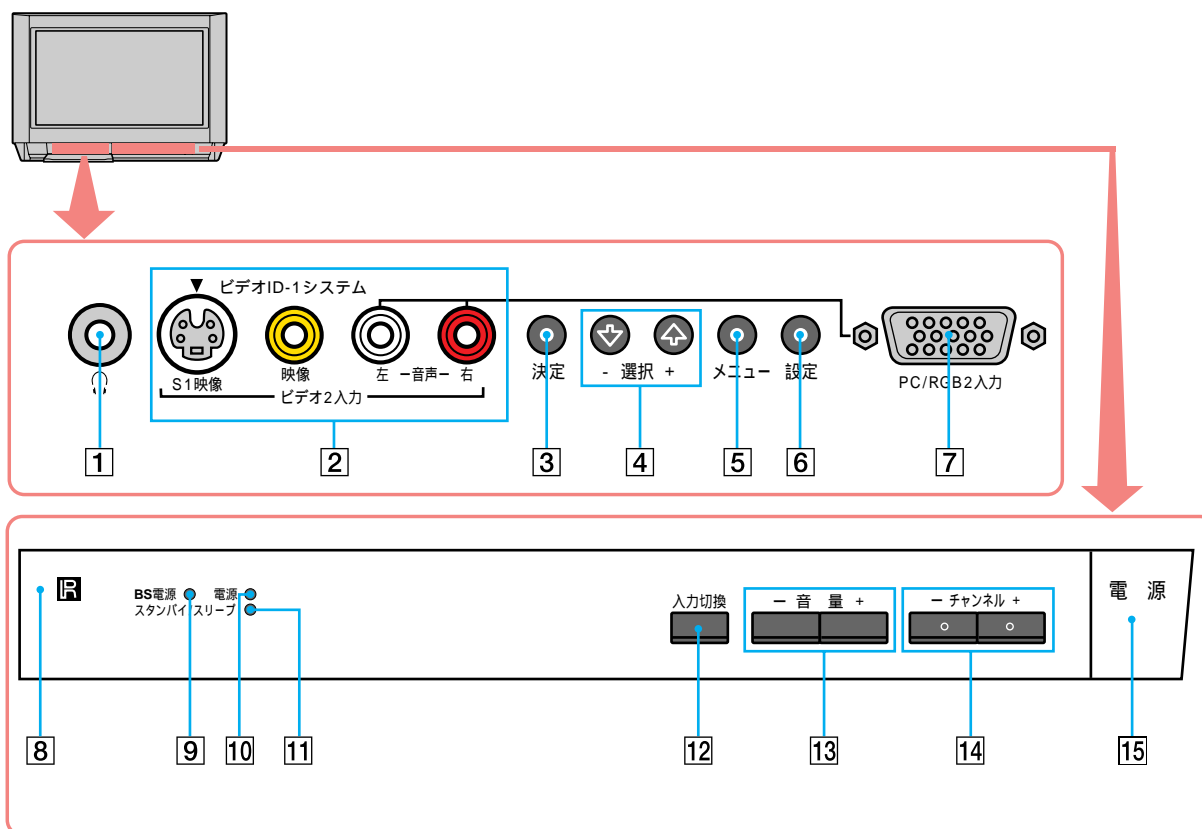
MUSE-NTSC コンバーター

MUSE方式のハイビジョン放送を現行放送方式（NTSC）に変換するための機器です。

ワイドクリアビジョン放送

ワイドクリアビジョン放送は現行テレビジョン放送とも両立性を保ちつつ画面のワイド化と高画質化などが図られた新しいテレビジョン放送です。
また、本機は水平側の画質向上回路を内蔵しており、高精細な映像がお楽しみいただけます。

各部の名前／Identification of controls

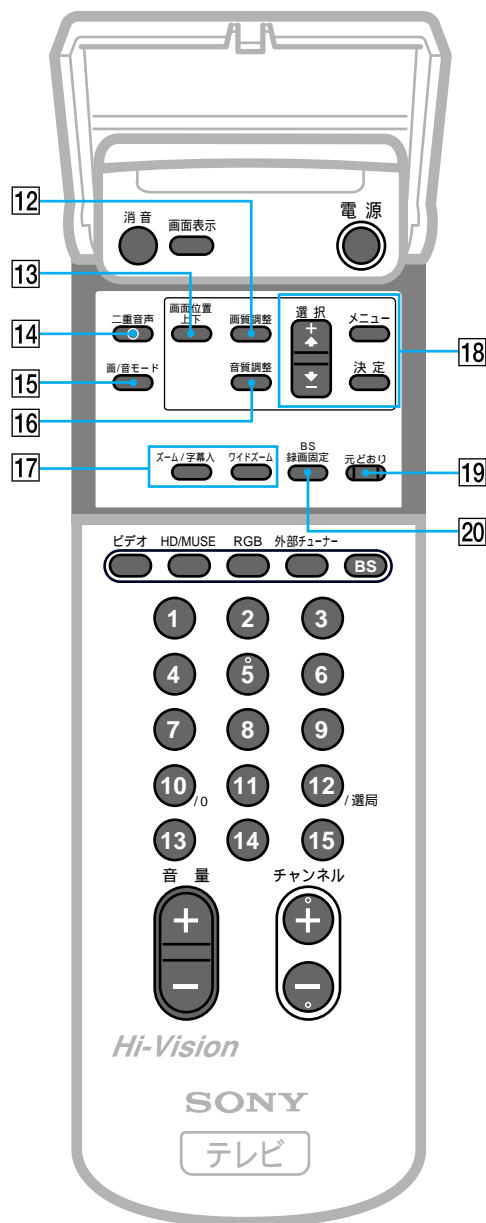
本体前面/TV Front Panel

1 ヘッドホン端子
2 ビデオ2入力端子☞44ページ
　S1映像端子
　映像端子
　音声（左）端子
　音声（右）端子
3 決定ボタン
4 選択+／−ボタン
5 メニューボタン
6 設定ボタン☞28ページ
7 PC／RGB2入力端子☞43ページ
8 リモコン受光部
9 BS電源ランプ☞19ページ
10 電源ランプ☞2ページ
11 スタンバイ／スリープランプ☞2ページ
12 入力切換ボタン
13 音量+／−ボタン☞2ページ
14 チャンネル+／−ボタン☞2ページ
15 電源スイッチ☞2ページ

1 Headphones jack
2 VIDEO 2 IN jacks page 44
　S1 -Video connector
　Video in jack
　Audio-L jack
　Audio-R jack
3 Enter button
4 Select +/− buttons
5 Menu button
6 Preset button page 28
7 PC/RGB 2 input connector page 43
8 Remote control sensor
9 BS (Broadcast Satellite) Power indicator page 19
10 Power indicator page 2
11 Standby/Sleep indicator page 2
12 Input Select button
13 Volume +/− buttons page 2
14 Channel +/− buttons page 2
15 Power switch page 2

リモコン／Remote Control

1 画面表示ボタン☞3ページ
2 消音ボタン☞3ページ
3 ノーマル／フルボタン☞5ページ
4 入力切換ボタン☞12ページ
　ビデオボタン
　HD/MUSEボタン
　RGBボタン
　外部チューナーボタン
5 チャンネル数字ボタン☞2, 11, 18ページ
6 音量＋／ーボタン
7 電源ボタン☞2ページ
8 外部CSボタン☞12ページ
　チャンネル＋／ーボタン
　電源ボタン
　二重音声ボタン
9 速攻ワイドボタン☞5ページ
10 BSボタン☞11ページ
11 チャンネル＋／ーボタン☞2ページ

1 Display button　page 3
2 Muting button　page 3
3 Normal/Full button　page 5
4 Input Select buttons　page 12
　Video button
　HD/MUSE button
　RGB button
　External Tuner button
5 Channel Number buttons　pages 2, 11, 18
6 Volume +/– buttons
7 Power switch　page 2
8 External CS buttons　page 12
　Channel +/– buttons
　Power button
　Audio Mode (Bilingual) button
9 Quick Wide button　page 5
10 BS (Broadcast Satellite) button　page 11
11 Channel +/– buttons　page 2

リモコン扉内／Inside of the panel

12 画質調整ボタン☞16ページ
13 画面位置上下ボタン☞9ページ
14 二重音声ボタン☞20ページ
15 画／音モードボタン☞15ページ
16 音質調整ボタン☞17ページ
17 ワイド画面操作部☞5ページ
18 メニューボタン☞6ページ
選択＋／ーボタン☞6ページ
決定ボタン☞6ページ
19 元どおりボタン☞48ページ
20 BS録画固定ボタン☞18ページ

12 Picture Adjust button page 16
13 Picture Position Up/Down button page 9
14 Audio Mode (Bilingual) button page 20
15 Picture/Sound Mode button page 15
16 Sound Adjust button page 17
17 Wide Mode Select buttons page 5
18 Menu button page 6
Select +/– buttons page 6
Enter button page 6
19 Reset button page 48
20 BS recording button page 18

索引

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

や行

ら行

わ行

万一、異常が起きたら

- **煙が出たら**
- **変なにおいや音がしたら**
- **内部に異物が入ったら**
- **音は出るが画面が映らないときは**
- **テレビを落としたり、キャビネットを破損したときは**

1. **電源を切る**
2. **電源プラグをコンセントから抜く**
3. **お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する**

ソニー株式会社　〒141 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ
●東京(03)5448-3311●名古屋(052)232-2611●大阪(06)539-5111

Printed in Japan